

評 価 資 料

| | | |
|---|---------------------------|----|
| 0 | 平成 20 年度水と緑の森づくり事業 事業費の概要 | 1 |
| 1 | 水と緑の森づくり推進事業 | 2 |
| 2 | 里山再生整備事業 | 3 |
| | 里山再生整備事業実施状況一覧表 | 5 |
| | 里山再生整備事業実施位置図 | 6 |
| 3 | みどりの森再生事業 | 7 |
| | みどりの森再生事業実施状況一覧表 | 8 |
| | みどりの森再生事業実施位置図 | 9 |
| 4 | とやまの森づくりサポートセンター推進事業 | 10 |
| | 県民参加による森づくり参加延べ人数 | 11 |
| 5 | とやまの森づくり総合情報システム事業 | 14 |
| | とやまの森づくり総合情報システムで提供する情報 | 15 |
| 6 | とやまの森づくり普及啓発推進事業 | 17 |
| | 「森の寺子屋」開催実績 | 18 |
| | フォレストリーダースキルアップ研修実績 | 21 |
| | 「とやま森の教本」作成・配布実績 | 21 |
| 7 | 県産材利用促進事業 | 22 |
| | 事業の実施と利用状況 | 23 |
| | アンケート結果 | 25 |
| 8 | 県民による森づくり提案事業 | 39 |
| | 県民実施事業一覧 | 40 |
| | 実施団体の活動状況（事業主体別調書） | 41 |
| | アイデア提案一覧 | 61 |

平成20年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

1. 富山県水と緑の森づくり基金積立額

351 百万円

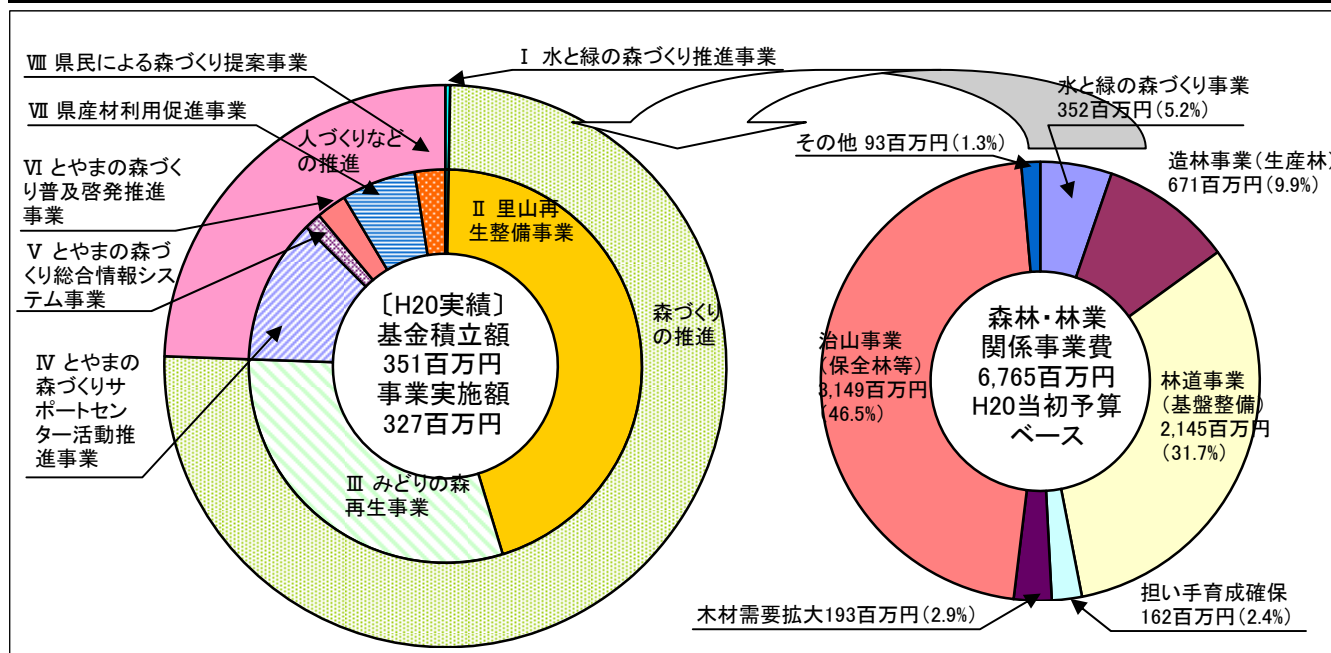
| | | |
|----|---------------|---------|
| 内訳 | 水と緑の森づくり税込相当額 | 350 百万円 |
| | 寄付金・運用益 | 1 百万円 |

2. 水と緑の森づくり事業費

当初予算額
352 百万円

実施額
327 百万円

| | | |
|---------------------------|---------|---------|
| I 水と緑の森づくり推進事業 | 2 百万円 | 1 百万円 |
| II 里山再生整備事業 | 162 百万円 | 155 百万円 |
| III みどりの森再生事業 | 105 百万円 | 104 百万円 |
| IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 | 26 百万円 | 23 百万円 |
| V とやまの森づくり総合情報システム事業 | 5 百万円 | 5 百万円 |
| VI とやまの森づくり普及啓発推進事業 | 8 百万円 | 8 百万円 |
| VII 県産材利用促進事業 | 35 百万円 | 21 百万円 |
| VIII 県民による森づくり提案事業 | 10 百万円 | 9 百万円 |



— 県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善 — I 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成20年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

県民全体で支える森づくりを推進するため、森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成20年4月16日

議題

平成19年度事業実施状況の報告

平成20年度の取り組みについて

「県民による森づくり提案事業(県民実施事業)」の採択審査

第2回 平成20年11月21日

議題

平成19年度事業の評価結果の報告

平成20年度事業の実施状況の報告

平成21年度に向けた取り組み

・「県民による森づくり提案事業」(アイデア提案)の審査

・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」の概要の報告

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成20年6月10日

内容

平成19年度の事業評価の実施

平成20年度の事業概要の報告



平成20年度
第1回 富山県水と緑の森づくり会議



森林審議会森づくり部会により19年度事業の
評価をしていただきました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ①

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

○平成20年度事業の実績

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行いました。

【平成20年度実績】

| | |
|--------|------------|
| 事業実施地区 | 84地区（14市町） |
| 対象面積 | 739ha |
| 事業主体 | 市町村 |

(2) 里山利活用促進事業

里山の継続的な管理・利用をすすめるため、「里山再生整備」に取り組む地域住民による里山の利活用体験を行いました。

【平成20年度実績】

| | |
|------|--|
| 実施場所 | 上市町黒川地区 |
| 取組内容 | 県下各地の里山地区の住民などが参加し、広葉樹林の除伐、炭焼材料集め、キノコ植菌、山菜の植付け、炭焼きなど里山の活用方法を体験。 ・参加者数 5月18日 271名、10月25日 51名、 11月8日 74名 |

事業主体 県



第1回目（5/18）を「里山の集い」として開催し、石井知事はじめ地域住民の皆さんらが利活用体験に汗を流しました。（山菜苗の贈呈）



森林整備の実施により、明るくなった里山林へギョウジャニンニクなど山菜苗の植付けを体験しました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ②

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

○平成20年度事業の実績

(3) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

【平成20年度実績】

| | |
|--------|--------------------|
| 事業実施地区 | 46地区（14市町） |
| 除去量 | 3446m ³ |
| 事業主体 | 市町村 |

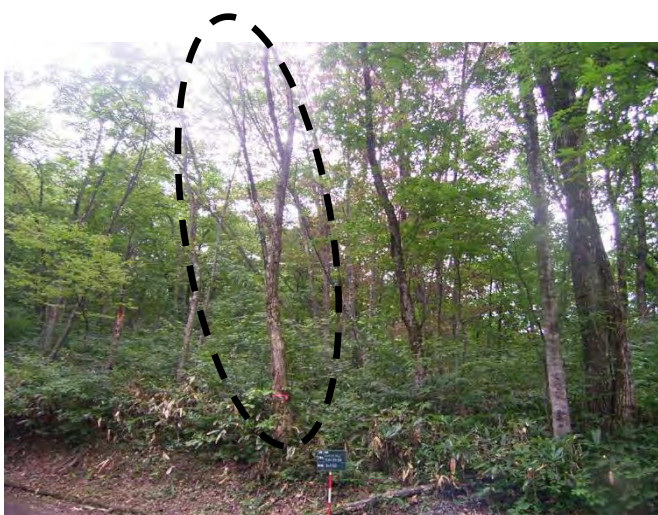
(4) 竹資源の利用・整備促進のための検討会やデータ整備の実施

拡大する竹林の実態把握をするとともに、竹資源の利用や竹林の整備を促進するための方策について検討しました。

【平成20年度実績】

- 取組内容
- ・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」（委員長：内村悦三）の開催。（8/4、10/24、3/3）
報告書を知事に手交（3/10）
 - ・衛星データを利用した竹林分布図、台帳を作成。

事業主体 県



道路沿線にあるカシノナガキクイムシ経年被害木。放置しておくと、倒伏し通行者へ被害を与える恐れがある。（富山市亀谷地内）

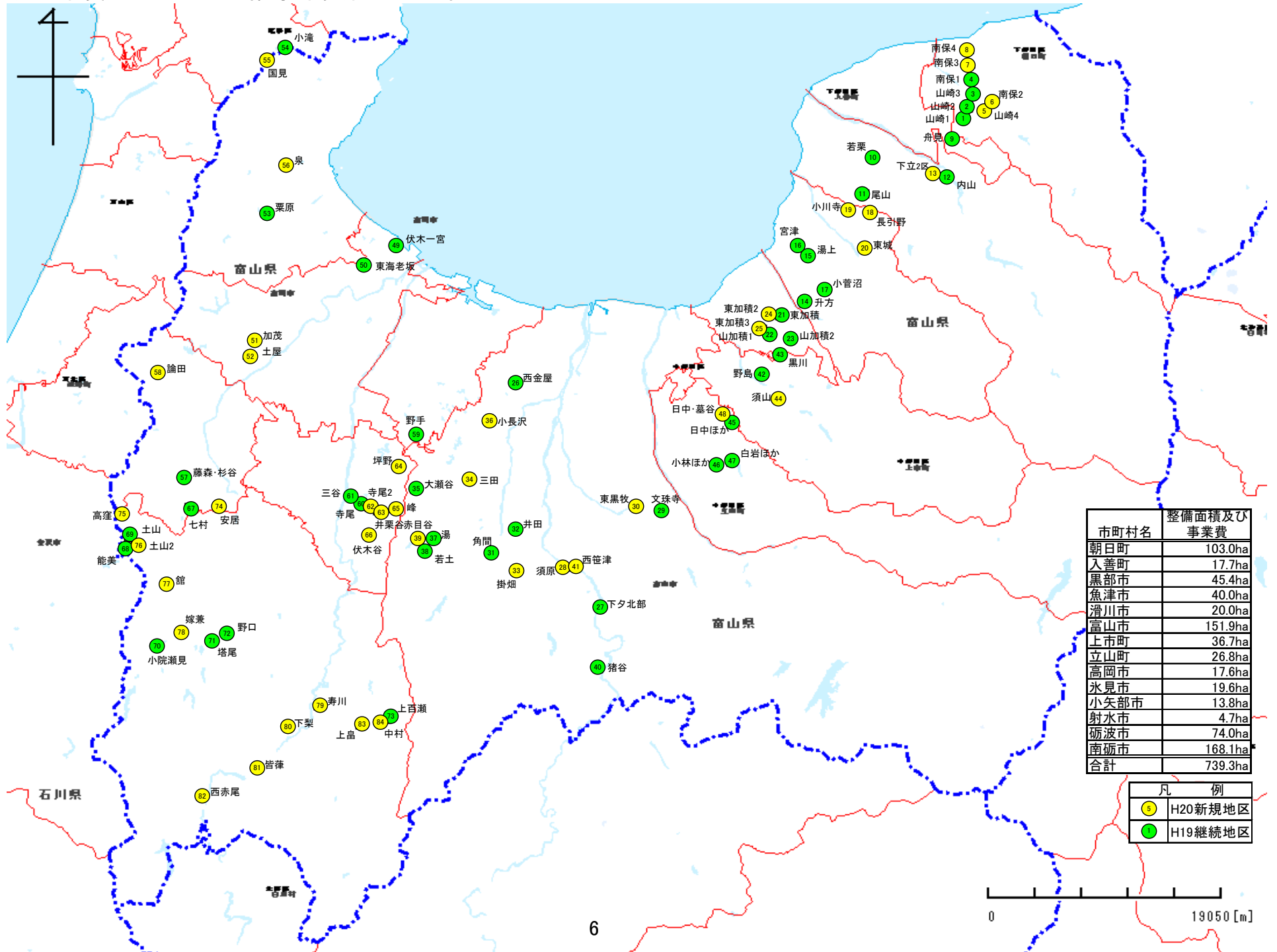


枯損木を除去し、未然に危険を回避しました。

平成20年度 里山再生整備事業実施状況一覧

Table with columns: No., ID No., 市町村名, 地区名, 新規継続区分, 事業期間, 計画区域面積, 里山林整備面積, 県民参加の森づくり計画, 里山活用促進事業計画, 整備の目的 (野生物対策, 地域景観保全, ライフライン保全, 里山利用), 平成20年度事業実績 (管理利用計画策定, 広葉樹林等整備, 竹林整備, 風雪被害等整備, 県民参加の森づくり, 里山活用促進事業). The table lists various municipalities like 朝日町, 黒部市, 魚津市, etc., with their respective project details and outcomes.

平成20年度 里山再生整備事業実施地区位置図



| 市町村名 | 整備面積及び事業費 |
|------|-----------|
| 朝日町 | 103.0ha |
| 入善町 | 17.7ha |
| 黒部市 | 45.4ha |
| 魚津市 | 40.0ha |
| 滑川市 | 20.0ha |
| 富山市 | 151.9ha |
| 上市町 | 36.7ha |
| 立山町 | 26.8ha |
| 高岡市 | 17.6ha |
| 氷見市 | 19.6ha |
| 小矢部市 | 13.8ha |
| 射水市 | 4.7ha |
| 砺波市 | 74.0ha |
| 南砺市 | 168.1ha |
| 合計 | 739.3ha |

| 凡 例 | |
|------------|---------|
| ● (Yellow) | H20新規地区 |
| ● (Green) | H19継続地区 |

Ⅲ みどりの森再生事業

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成20年度事業の実績

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

平成16年に県西部を中心に発生した風雪被害林や十分な手入れがなされず過密となった人工林を整理するとともに、整理地に広葉樹を植栽し、混交林化を促進しました。

【平成20年度実績】

| | | |
|--------|----------|-----------|
| 事業実施箇所 | ・風雪被害林整理 | 7地区（6市町） |
| | ・過密人工林整理 | 11地区（8市町） |
| 整備面積 | ・風雪被害林整理 | 34.7ha |
| | ・過密人工林整理 | 39.3ha |
| 事業主体 | 県 | |

(2) 県産広葉樹苗の育成

県民や森林ボランティアの協力を得て、針広混交林への誘導などに必要な県産の広葉樹の苗を育成しています。

10月11日に砺波市頼成の森において、約270名の参加を得て、ドングリ拾いのイベント「みどりの里親の集い」を開催しました。参加者には「里親」となってドングリの苗を育てていただいています。

【平成20年度実績】

| | |
|--------|------------------------|
| 事業実施箇所 | 砺波市頼成（県民公園 頼成の森） |
| 事業主体 | 県（とやまの森づくりサポートセンターに委託） |



10月11日、時折小雨の降る中、フォレストリーダーの引率のもと、頼成の森の遊歩道を散策しながらコナラなどのドングリを拾いました。



拾ってきたドングリを竹で作った鉢などに鉢植えました。参加者は家に持ち帰り、ドングリの「里親」となって苗を育てていただきます。

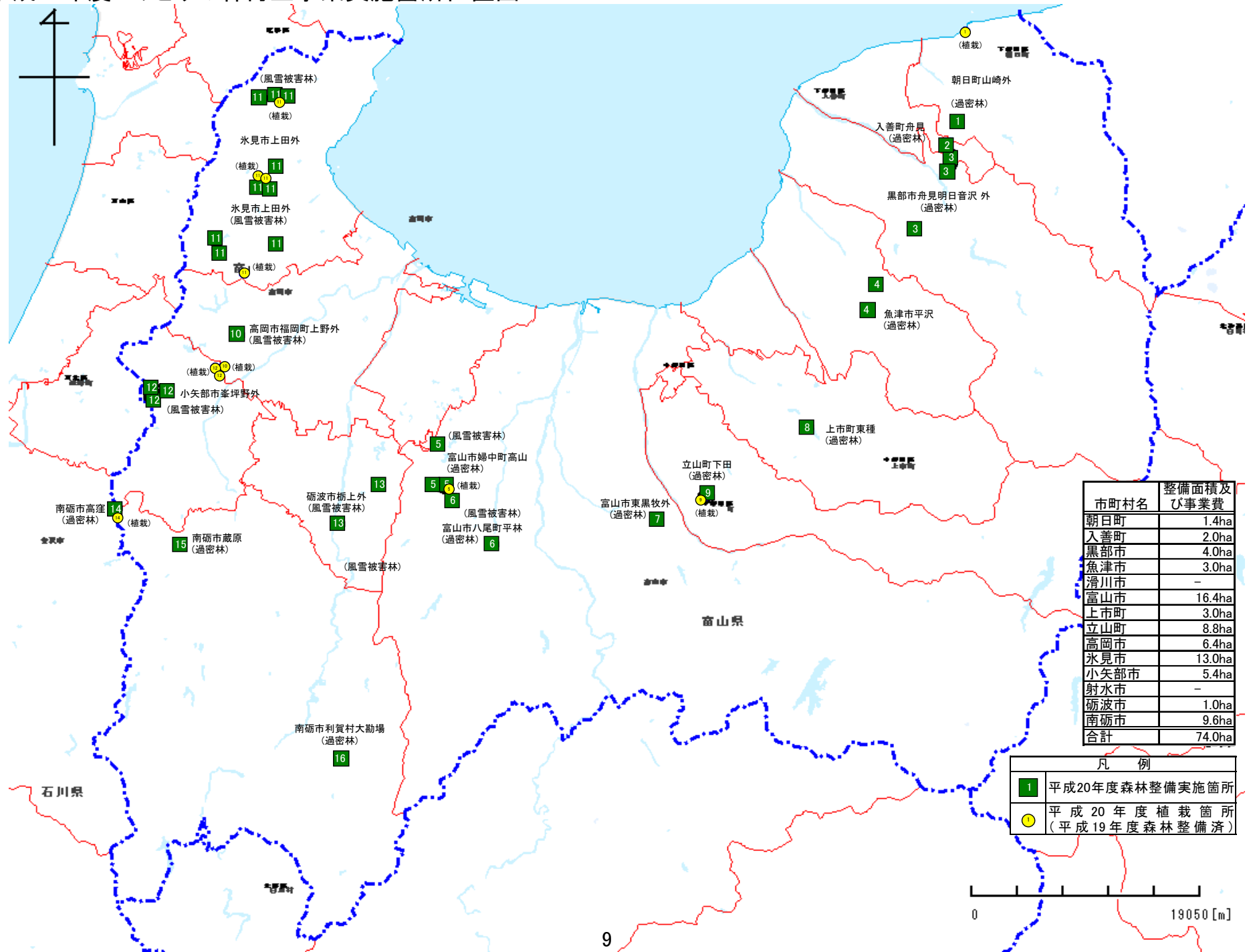
平成20年度 みどりの森再生事業実施箇所一覧

全体計画及び進捗率

| 年度 | | 全体計画 | H19年度 (実績) | H20年度 (実績) | H21年度 (計画) | H22年度 (計画) | H23年度 (計画) |
|------------|---------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業実施 面積 | 風雪被害林整理 | 250ha | 42ha | 35ha | 24ha | 75ha | 74ha |
| | 過密人工林整理 | 750ha | 19ha | 39ha | 109ha | 270ha | 313ha |
| | 合計 | 1000ha | 61ha | 74ha | 133ha | 345ha | 387ha |
| 累計実施面積 | | | 61ha | 135ha | 268ha | 613ha | 1,000ha |
| 進捗率 | 実績 | | 6.1% | 13.5% | | | |
| | 計画 | | | | 26.8% | 61.3% | 100.0% |

| 番号 | 市町村 | 箇所名 | 平成20年度事業実績 | | | | 整備の目的 | |
|-------|-------|---------|------------|-------------|-----------|--------|------------|------------|
| | | | 主要事業内容 | | | | 災害防止 目的 | 景観保全 目的 |
| | | | 整理区域 面積 | 風雪被害 林整理 | 過密林整 理 | 植栽面積 | | |
| 20-1 | 朝日町 | 山崎外 | 1.4ha | | 1.4ha | 0.2ha | ○ | |
| 20-2 | 入善町 | 舟見 | 2.0ha | | 2.0ha | | ○ | ○ |
| 20-3 | 黒部市 | 舟見明日音沢外 | 4.0ha | | 4.0ha | | ○ | |
| 20-4 | 魚津市 | 平沢 | 3.0ha | | 3.0ha | | ○ | |
| 20-5 | 富山市 | 婦中町高山 | 8.8ha | 7.2ha | 1.6ha | 0.7ha | ○ | ○ |
| 20-6 | 富山市 | 八尾町平林 | 2.3ha | 1.4ha | 0.9ha | 0.2ha | ○ | |
| 20-7 | 富山市 | 東黒牧 | 5.3ha | | 5.3ha | | ○ | |
| | 富山市 計 | | 16.4ha | 8.6ha | 7.8ha | 0.9ha | 3地区 | 1地区 |
| 20-8 | 上市町 | 東種 | 3.0ha | | 3.0ha | | ○ | |
| 20-9 | 立山町 | 下田 | 8.8ha | | 8.8ha | 0.5ha | ○ | |
| 20-10 | 高岡市 | 福岡町上野外 | 6.4ha | 6.4ha | | 9.8ha | ○ | ○ |
| 20-11 | 氷見市 | 上田外 | 13.0ha | 13.0ha | | 8.6ha | ○ | ○ |
| 20-12 | 小矢部市 | 峯坪野外 | 5.4ha | 5.4ha | | 8.0ha | ○ | ○ |
| 20-13 | 砺波市 | 栃上外 | 1.0ha | 1.0ha | | | ○ | |
| 20-14 | 南砺市 | 高窪 | 0.9ha | 0.3ha | 0.6ha | 0.3ha | ○ | |
| 20-15 | 南砺市 | 蔵原 | 2.0ha | | 2.0ha | | ○ | ○ |
| 20-16 | 南砺市 | 利賀村大勘場 | 6.7ha | | 6.7ha | | ○ | |
| | 南砺市 計 | | 9.6ha | 0.3ha | 9.3ha | 0.3ha | 3地区 | 1地区 |
| | 総計 | | 74.0ha | 34.7ha | 39.3ha | 28.3ha | 16地区 | 6地区 |

平成20年度 みどりの森再生事業実施箇所位置図



ーとやまの森づくりを支える人づくりなどの推進ー

Ⅳとやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成20年度事業の実績

(1) 登録団体数等（平成21年3月31日現在）

一般登録 : 58団体 3,416人
企業登録 : 24企業

(2) ボランティアの活動支援の実施

- ・ヘルメットや草刈り鎌、ナタ、鋸、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出し
- ・登録ボランティア団体への活動経費や保険料の支援
- ・ボランティアの森林作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催など

(3) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

- ・森づくりボランティアの集いやボランティア交流会の開催
- ・飛越源流の森づくりへの参加
- ・ボランティア交流サロンの管理 など

(4) PR活動の実施

- ・登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布
- ・サポートセンターや企業の森づくりのPRパンフレットの配布
- ・登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



多くの県民が参加する森の祭典（砺波市）において、のぼり旗の贈呈を行いました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

平成20年度 県民参加による森づくり参加延べ人数

| 類 別 | 活動回数 | 延べ参加人数 | H19実績 |
|-----------------------|------|---------|--------|
| サポートセンター登録団体・個人 | | | |
| 森林整備型 | 144回 | 1,216人 | 926人 |
| 体験参加型 | 426回 | 4,895人 | 5,257人 |
| 小計 | 570回 | 6,111人 | 6,183人 |
| 企業の森づくり（サポートセンター登録企業） | 61回 | 2,707人 | 407人 |
| サポートセンター主催活動 | 3回 | 613人 | 277人 |
| 計 | 634回 | 9,431人 | 6,867人 |
| 里山再生整備事業（地域外の参加者数） | | 602人 | 53人 |
| 総 計 | | 10,033人 | 6,920人 |

平成20年度 サポートセンター登録団体等一覧表

I サポートセンター登録団体・個人

平成21年3月31日 現在

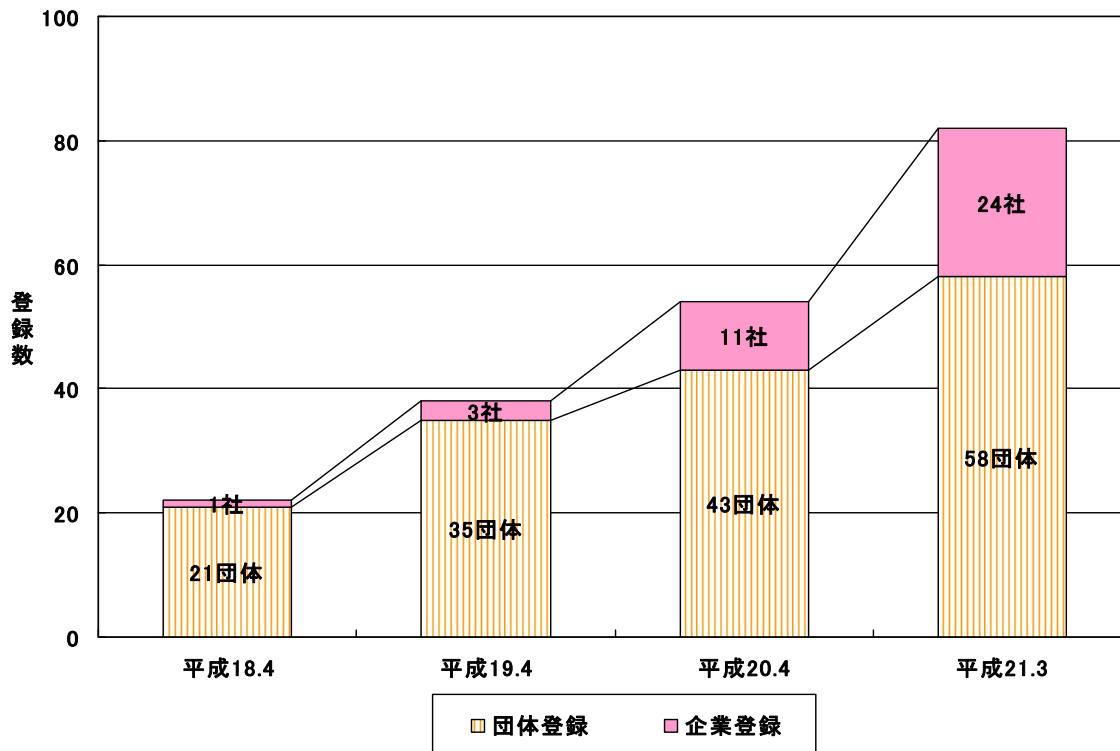
| | 登録年月 | 団体名称 | 事務局 | 会員数 | 備考 |
|----|--------|------------------------|---------------------|-------|----|
| 1 | H18.03 | あそあそ自然学校 | 上市町浅生15 | 35 | |
| 2 | H18.03 | 草刈り十字軍運動本部 | 富山市安養寺110 | 66 | |
| 3 | H18.03 | 雑木囃子 | 砺波市東別所5303 | 35 | |
| 4 | H18.03 | 財団法人オイスカ富山県支部 | 富山市下大久保2412-9 | 20 | |
| 5 | H18.03 | 南砺の山々を守る実行委員会 | 南砺市高儀387-14 | 32 | |
| 6 | H18.03 | 富山県フォレストリーダー協会 | 魚津市仏田3432-8 | 111 | |
| 7 | H18.03 | 片貝川の流れを戻す会 | 魚津市道坂103-4 アソビノ内 | 50 | |
| 8 | H18.03 | NPO法人グリーンツリームとやま | 富山市上飯野25番地 | 135 | |
| 9 | H18.03 | 森づくりボランティア「天林森の会」 | 立山町福田728 | 55 | |
| 10 | H18.03 | とやま森林サポーターの会 | 富山市掛尾町341番地 | 33 | |
| 11 | H18.03 | とやま森林サポーター二期会 | 滑川市追分3776番地 | 34 | |
| 12 | H18.03 | とやま森林サポーター三期会 | 立山町蔵本新392番地 | 34 | |
| 13 | H18.03 | とやま森林サポーター四期会 | 富山市山室45-5 | 28 | |
| 14 | H18.03 | NPO法人とやまの木で家をつくる会 | 富山市元町2-3-18 | 103 | |
| 15 | H18.03 | どんぐりころりん会 | 立山町五百石165 | 41 | |
| 16 | H18.03 | 火見城発伸の会 | 氷見市飯久保125 | 30 | |
| 17 | H18.04 | 環境教育ネットワークとやまエコひろば | 高岡市中川園町5-14 | 50 | |
| 18 | H18.04 | とやま森林づくりボランティアの会 | 富山市朝葉町1丁目67-5 | 64 | |
| 19 | H18.04 | とやま森林インストラクター会 | 砺波市東別所5303番地 | 19 | |
| 20 | H18.04 | 地域福祉協会 | 富山市安住町5-21 | 14 | |
| 21 | H18.04 | グリーンサポート 十夢草野の会 | 高岡市白金町7-15 | 30 | |
| 22 | H18.05 | 社会福祉法人 めひの野園 | 富山市西金屋6694-4 | 10 | |
| 23 | H18.05 | 木と暮らそうネット | 富山市婦中町新屋507 | 30 | |
| 24 | H18.05 | きんたろう倶楽部 | 富山市古沢254 | 791 | |
| 25 | H18.05 | 市民いきものメイト | 富山市古沢254 | 271 | |
| 26 | H18.06 | 呉羽丘陵 ” 森の楽校” | 富山市小杉120 | 40 | |
| 27 | H18.06 | とやま森林と人ネットワーク | 氷見市惣領296番地 | 31 | |
| 28 | H18.08 | 小矢部市立 蟹谷(かんだ)中学校 | 富山県小矢部市藤森60番地 | 133 | |
| 29 | H18.08 | 社会福祉法人 「溪明園」 | 富山県小矢部市論田8番地 | 10 | |
| 30 | H18.09 | 八尾ふるさと発見塾 | 富山県富山市八尾町角間2番地 | 50 | |
| 31 | H18.10 | 伏木ふるさとの杜 管理協力会 | 富山県高岡市伏木一宮2丁目3-29 | 200 | |
| 32 | H18.10 | 上市町立 上市中学校 生徒会 | 富山県中新川郡上市町稗田1番地 | 80 | |
| 33 | H18.11 | 夢創塾(むそうじゅく) | 下新川郡朝日町蛭谷469 | 20 | |
| 34 | H19.02 | 森のむささび | 高岡市福岡町五位1207 | 23 | |
| 35 | H19.04 | グループ樹の実 | 黒部市生地神区207-3 | 40 | |
| 36 | H19.04 | NPO法人森林総合支援センター | 富山市金屋3854 | 37 | |
| 37 | H19.05 | 梅檀野さくらの会 | 砺波市芹谷1036 | 34 | |
| 38 | H19.05 | 小矢部里山を守る会 | 小矢部市泉町3-9 | 8 | |
| 39 | H19.05 | Bamboo saves the earth | 富山市婦中町希望ヶ丘654 | 10 | |
| 40 | H19.08 | 富山県林友クラブ | 富山市舟橋北町4-19 | 150 | |
| 41 | H20.02 | 砺波里山再生の会 | 砺波市福岡445 | 10 | |
| 42 | H20.02 | 阿古屋野森づくりクラブ | 黒部市窪野97 | 20 | |
| 43 | H20.04 | 瞳々の会(とうとうのかい) | 南砺市西赤尾町183 | 14 | |
| 44 | H20.05 | 富山県立 新生園 | 高岡市麻生谷3835 | 50 | |
| 45 | H20.06 | NPO法人 黒河竹炭友の会 | 射水市東太閤山2-77 | 17 | |
| 46 | H20.07 | エコ口の森ネイチャークラブ | 富山市文京町3-4-8 | 10 | |
| 47 | H20.09 | 里山と共に | 高岡市福岡町三日市195 | 5 | |
| 48 | H20.09 | クリキンディの森づくりの会 | 魚津市新金屋2-5-3 | 15 | |
| 49 | H20.10 | 悠遊会(ゆうゆうかい) | 高岡市頭川2993 | 30 | |
| 50 | H20.10 | 上田・森と仲間づくり・炭竹会 | 氷見市上田1557 | 20 | |
| 51 | H20.10 | しんゆう倶楽部 | 富山市割山9-1割山森林公園「天湖森」 | 72 | |
| 52 | H20.11 | アートNPOヒミング | 氷見市大町7-6 | 30 | |
| 53 | H21.1 | ぶなっこ会 | 射水市内 | 20 | |
| 54 | H21.01 | 山平の森を守る会 | 富山市稲代11-205 | 12 | |
| 55 | H21.02 | ふるさと再生塾 | 富山市寺町けや木台109 | 6 | |
| 56 | H21.02 | ビーフレンド山と森の協同組合 | | 10 | |
| 57 | H21.03 | 閑乗寺の会 | 南砺市井波962-17 | 13 | |
| 58 | H21.03 | 富山県がうん天蚕の会 | 富山市朝葉町2-704-4 | 10 | |
| | | 小計 | | 3,351 | |
| | | 個人登録者 | | 65 | |
| | | 計 | | 3,416 | |

II サポートセンター登録企業

平成21年3月31日 現在

| | 登録年月 | 企業名称 | 事務局 | 社員(会員)数 |
|----|--------|---------------------------|-----------------|---------|
| 1 | H18.03 | 北陸功コ-ラグループ「うるおいの森づくり」有志の会 | 高岡市内島3550番地 | 160 |
| 2 | H18.05 | イオン株式会社ジャスコ高岡南店 | 高岡市下伏間江383番地 | 400 |
| 3 | H18.10 | (株)国際電気セミナリヤサービス(富山事業所) | 富山市八尾町保内2-9-2 | 57 |
| 4 | H19.05 | (株)トヨックス | 黒部市前沢4371 | 261 |
| 5 | H19.05 | 北星ゴム工業(株) | 黒部市岡362-14 | 470 |
| 6 | H19.05 | ダイヤテックス(株) | 黒部市沓掛2000 | 300 |
| 7 | H19.07 | 川端鐵工(株) | 黒部市生地芦区247 | 80 |
| 8 | H19.09 | YKKグループ黒部事業所 | 黒部市吉田200 | 6,400 |
| 9 | H19.11 | ウッドリンク株式会社 フォルスタクラブ | 射水市寺塚原415 | 150 |
| 10 | H19.12 | 藤堂工業株式会社 | 滑川市上島838 | 150 |
| 11 | H20.01 | オクテックグループ“安心の森づくり”クラブ | 射水市西高木1184番地 | 230 |
| 12 | H20.04 | 日本労働組合総連合会富山県連合会(連合富山) | 富山市奥田新町8-1 | 68,000 |
| 13 | H20.04 | クラシエ製薬(株)高岡工場 | 高岡市鐘紡町3-1 | 200 |
| 14 | H20.05 | 北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会とやま | 富山市牛島町13-15 | 1,000 |
| | H20.05 | 北陸電力グループ 森に恩返し活動実行委員会うおづ | 魚津市新金屋1-12-12 | 1,000 |
| 15 | H20.06 | 岸田木材株式会社 | 氷見市十二町万尾町247-1 | 30 |
| 16 | H20.06 | 国際電気テクノサービス株式会社 | 富山市八尾町保内2-1 | 70 |
| 17 | H20.07 | 日本海ガス株式会社 | 富山市城北町保内2-36 | 346 |
| 18 | H20.09 | 株式会社富山村田製作所 | 富山市上野345 | 1,300 |
| 19 | H20.09 | 株式会社高松メッキ | 富山市八尾町保内2-10 | 220 |
| 20 | H20.11 | TOTO株式会社 北陸支社 | 金沢市鞍月4-110 | 20 |
| 21 | H20.11 | 大和ハウス工業株式会社富山支店 | 富山市天正寺68番地 | 126 |
| 22 | H21.02 | (株)日立国際電気 | 富山市八尾町保内2-1 | 506 |
| 23 | H21.03 | ヤマサン食品工業株式会社 | 射水市黒河3197 | 156 |
| 24 | H21.03 | ノエビア富山販売株式会社 | 富山市富山市経堂1-102-2 | 50 |

(参考) サポートセンター登録団体数、登録企業数の推移



—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

V とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成20年度事業の実績

(1) 森林GISシステムの運用

昨年度整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、森林GISや衛星データを用い、拡大する竹林の現状を把握し、竹林の整備方針の検討に活用しました。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業をリアルタイムで紹介しています。

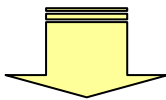
・アクセス件数 10,971 件（平成21年3月31日現在）

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

竹林の分布：富山市呉羽（寺町）地区



昭和50年の分布



平成20年の分布（約2.0倍に拡大）

とやまの森づくりホームページ



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

平成 20 年度 とやまの森づくり総合情報システム事業について

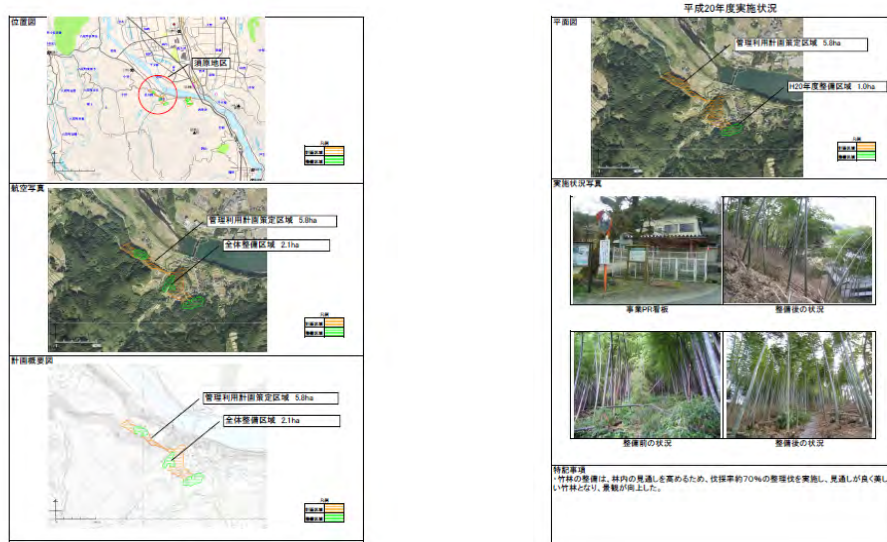
○事業実績

1 森林 GIS の運用・活用

(1) 水と緑の森づくり事業地情報図の作成

水と緑の森づくり事業の結果及びその効果を、わかりやすく情報提供するための情報図を森林GISを活用し作成。

(参考) 里山再生整備事業地の地区別実施調書



(2) 竹林の現状把握への活用

森林GISや衛星データを用い、拡大する竹林の現状を把握し、竹林の整備方針の検討に活用。

(参考) 竹林の分布：富山市呉羽（寺町）

昭和 50 年の分布



平成 20 年の分布（約 2 倍に拡大）



2 とやまの森づくりホームページの公開

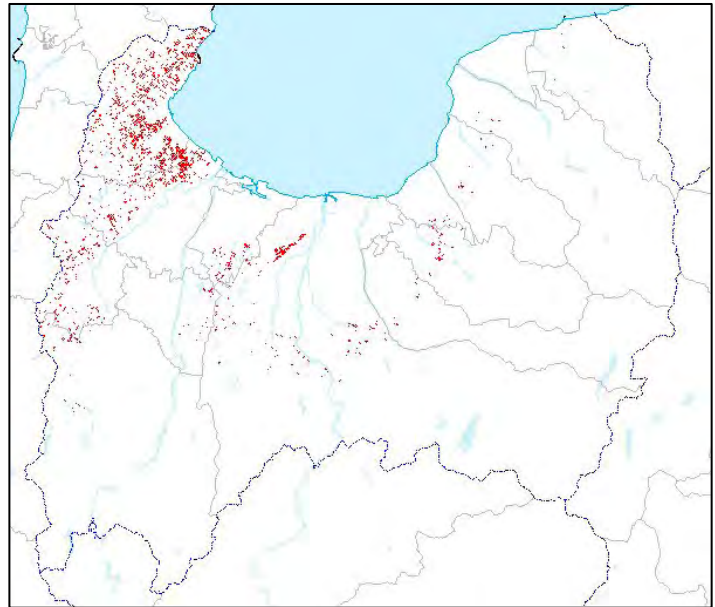
森林GISを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業に関する情報をリアルタイムで紹介。

(アクセス件数 10,951件 平成21年3月31日現在)

とやまの森づくりホームページ



公開している「竹林の分布図」



—とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進—

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成20年度事業の実績

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しました。

【平成20年度実績】

開催回数 91回

内訳〔 出前講座 33回 (参加人数 1,750人) 〕
〔 森林教室 58回 (参加人数 4,425人) 〕

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

【平成20年度実績】

スキルアップ研修の開催 2回

(第1回 平成20年7月7日、第2回 平成21年3月15日)

(3) 「とやま森の教本」の作成

「森の寺子屋」等において活用する本県独自の副読本を作成しました。これを用いて学校教育と連携した森林環境教育を進めます。

【平成20年度実績】

「とやま森の教本」作成 16,000部

(平成21年3月県内全小中学校、図書館、児童館等に配布)



「森の寺子屋」では、小学校などからの要請を受け、フォレストリーダーが出向いて講義などを行ないました。



富山県独自の副読本「とやま森の教本」を作成しました。各所に配布するとともに、「森の寺子屋」でフォレストリーダーが解説を実施する際の教材として使用します。

(1)平成20年度『森の寺子屋』開催実績

| 開催回 | 開催年月日 年 月 日 | 開催要請者 | 対象者 | | | 『森の寺子屋』の内容 | |
|-----|----------------|-------------------|-----|----------|-----|--------------|--|
| | | | 区分 | 学年等 | 人数 | 区 分 | 具体的内容 |
| 1 | 20 / 4 / 14 | 砺波市立庄東小学校 | 児童 | 小学校6年生 | 46 | 森林教室 | 自然解説、巣箱掛けの指導 |
| 2 | 20 / 4 / 20 | はぎうらおはなしの会 | 児童 | 幼児～小学生 | 120 | 森林教室 | クラフトの指導 |
| 3 | 20 / 4 / 20 | 富山県農林水産公社 | 一般 | | 200 | 森林教室 | 竹クラフトの指導 |
| 4 | 20 / 4 / 22 | 社会福祉法人 たびだちの会 | 一般 | | 33 | 森林教室 | きのこ植菌の指導 |
| 5 | 20 / 4 / 22 | 社会福祉法人 手をつなぐとみなみ野 | 一般 | | 15 | 森林教室 | きのこ植菌の指導 |
| 6 | 20 / 4 / 23 | 社会福祉法人 手をつなぐとみなみ野 | 一般 | | 20 | 森林教室 | きのこ植菌の指導 |
| 7 | 20 / 4 / 28 | 砺波里山再生の会 | 児童 | 鷹巣小学校4年生 | 41 | 森林教室 | きのこ植菌の指導 |
| 8 | 20 / 4 / 29 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 20 | 森林教室 | 森林・林業についてクイズを通して解説 |
| 9 | 20 / 5 / 4 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 110 | 森林教室 | 樹木解説・シタケ植菌の指導 |
| 10 | 20 / 5 / 13 | 立山町立釜ヶ淵小学校 | 児童 | 小学校5,6年生 | 28 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 巣箱掛けの指導 |
| 11 | 20 / 5 / 18 | 富山県 | 一般 | | 272 | 森林教室 | 除伐、きのこ植菌、山菜植付等の指導 |
| 12 | 20 / 5 / 23 | 富山県 | 児童 | 花と緑の少年団 | 300 | 森林教室 | 森の不思議〇×クイズの出題と解説、きのこ植菌の指導 |
| 13 | 20 / 6 / 14 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 85 | 森林教室 | とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説 |
| 14 | 20 / 6 / 15 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 72 | 森林教室 | とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説 |
| 15 | 20 / 6 / 21 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 141 | 森林教室 | とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説 |
| 16 | 20 / 6 / 22 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 151 | 森林教室 | とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説 |
| 17 | 20 / 6 / 28 | 魚津市松倉公民館 | 児童 | 小学生1～6年生 | 24 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 端材を利用した木工教室 |
| 18 | 20 / 7 / 15 | 高岡市立西広谷小学校 | 児童 | 小学校1～6年生 | 10 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 19 | 20 / 7 / 26 | 中川原児童クラブ | 児童 | 小学生1～6年生 | 36 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 20 | 20 / 7 / 28 | 富山県農業協同組合中央会 | 児童 | 小学生5～6年生 | 12 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 21 | 20 / 7 / 29 | | | | 79 | | |
| 22 | 20 / 7 / 30 | 社団法人とやま緑化推進機構 | 児童 | | 200 | 森林教室 | 森の不思議〇×クイズ |
| 23 | 20 / 7 / 31 | | | | 121 | | 木工教室 |
| 24 | 20 / 8 / 1 | 富山県農業協同組合中央会 | 児童 | 小学生5～6年生 | 17 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 25 | 20 / 8 / 2 | 平花とみどりの少年団 | 児童 | 小学生4～6年生 | 20 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室の指導 |
| 26 | 20 / 8 / 4 | 氷見市立湖南小学校 | 児童 | 小学生5～6年生 | 72 | 森林教室 | 竹ドームコンサート用の竹笛作り |
| 27 | 20 / 8 / 7 | 明和児童クラブ | 児童 | 小学生1～6年生 | 11 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室の指導 |
| 28 | 20 / 8 / 11 | あそそ自然学校 | 児童 | | 48 | 森林教室 | 森林の役割解説と竹林整備 |
| 29 | 20 / 8 / 12 | あそそ自然学校 | 児童 | | 48 | 森林教室 | 森林の役割解説と竹林整備 |
| 30 | 20 / 8 / 19 | 社団法人とやま緑化推進機構 | 児童 | | 136 | 森林教室 | ネイチャーゲームの指導 |
| 31 | 20 / 8 / 26 | 魚津市立かもめ児童センター | 児童 | | 32 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 32 | 20 / 8 / 28 | あそそ自然学校 | 児童 | | 46 | 森林教室 | 森林の役割解説と竹林整備 |
| 33 | 20 / 8 / 29 | あそそ自然学校 | 児童 | | 46 | 森林教室 | 森林の役割解説と竹林整備 |
| 34 | 20 / 8 / 31 | 北陸コココーラ(株) | 一般 | | 300 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 35 | 20 / 9 / 7 | 庄東小学校 第3学年委員 | 児童 | 小学校3年生 | 62 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 36 | 20 / 9 / 8 | 黒部市立宇奈月小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 43 | 出前講座 | 森林の役割、森林環境の問題点等解説 |
| 37 | 20 / 9 / 19 | 射水市立下村小学校 | 児童 | 小学校4年生 | 19 | 出前講座 | 地球温暖化と森林 |
| 38 | 20 / 9 / 20 | 魚津市松倉公民館 | 一般 | | 30 | 森林教室 | 木の実を利用した工作 |
| 39 | 20 / 9 / 24 | 黒部市立宇奈月小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 43 | 森林教室 | 山林内を歩き、森林の役割、森林環境の問題点等解説 |
| 40 | 20 / 9 / 24 | 南砺市立福光西部小学校 | 児童 | 小学生4～6年生 | 14 | 出前講座 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 |
| | | | | 小学生1～3年生 | 9 | 森林教室 | 草花収集の指導 |
| 41 | 20 / 9 / 30 | 氷見市立十三中学校 | 生徒 | 中学生1～3年生 | 119 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室(小枝ボールペン・竹細工)の指導 |
| 42 | 20 / 10 / 1 | 射水市立片口小学校 | 児童 | 小学校6年生 | 52 | 森林教室 | 木工教室(小枝ボールペン)の指導 |
| 43 | 20 / 10 / 7 | 砺波市立庄東小学校 | 児童 | 小学校6年生 | 46 | 森林教室 | 森林観察の指導・解説 |
| 44 | 20 / 10 / 10 | 立山町立芦嶽小学校 | 児童 | 小学校1～6年生 | 15 | 森林教室 | 森林観察の指導・解説 |
| 45 | 20 / 10 / 11 | (社)富山県農林水産公社 | 一般 | | 276 | 森林教室 | ドングリ拾い及び鉢植えの指導 |
| 46 | 20 / 10 / 16 | 魚津市立片貝小学校 | 児童 | 小学校3年生 | 9 | 出前講座 | 広葉樹の種類、ドングリ等について解説 |
| 47 | 20 / 10 / 16 | 富山市立八尾小学校 | 児童 | 小学校4年生 | 79 | 森林教室 | カタクリの森を散策し、森の役割や大切さ、人々と里山林の関わりを解説 |
| 48 | 20 / 10 / 17 | 大門小学校 | 児童 | 小学生6年生 | 113 | 出前講座 | 地球温暖化に果たす森林の役割 |
| | | | | 小学生5年生 | 125 | 出前講座 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 |
| 49 | 20 / 10 / 20 | 魚津市立片貝小学校 | 児童 | 小学校3年生 | 9 | 森林教室 | 森林内で広葉樹の種類、ドングリ等について解説 |

| 開催回 | 開催年月日 年 月 日 | 開催要請者 | 対象者 | | | 『森の寺子屋』の内容 | |
|-----|----------------|-------------------|-----|------------------|----------|--------------|---|
| | | | 区分 | 学年等 | 人数 | 区 分 | 具体的内容 |
| 50 | 20 / 10 / 25 | 富山県 | 一般 | | 38 | 森林教室 | 里山利活用体験指導(炭窯出、きのご観察) |
| 51 | 20 / 10 / 26 | 財団法人花と緑の銀行 | 一般 | | 8 | 森林教室 | とやまの森林のすがた、森林の働きなどを解説 |
| 52 | 20 / 10 / 28 | 射水市立小杉小学校 | 児童 | 小学校4～6年生 | 26 | 森林教室 | 木笛作り |
| 53 | 20 / 11 / 1 | 氷見市農業協同組合 | 児童 | 小学校3年生 | 120 | 森林教室 | 竹笛作り |
| 54 | 20 / 11 / 2 | 伏木ふれあいの社管理協力会 | 一般 | | 58 | 森林教室 | 竹クラフト教室 |
| 55 | 20 / 11 / 4 | 高岡市立木津小学校 | 児童 | 小学生5年生 | 66 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室(小枝ボールペン)の指導 |
| 56 | 20 / 11 / 7 | 氷見市立仏生寺小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 7 | 森林教室 | 竹林伐採 |
| 57 | 20 / 11 / 8 | かたかご幼稚園 | 園児 | 幼稚園児 | 130 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 58 | 20 / 11 / 8 | 富山県 | 一般 | | 74 | 森林教室 | 里山利活用体験指導(炭窯入、山菜観察) |
| 59 | 20 / 11 / 9 | アースデイにいかわ | 一般 | | 38 | 森林教室 | 森林内で、森林の役割、整備の必要性について解説 |
| 60 | 20 / 11 / 10 | 上野方小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 35 | 出前講座 | とやまの森林の姿、働き、地球温暖化と森林等 |
| 61 | 20 / 11 / 13 | 魚津市立片貝小学校 | 児童 | 小学校3年生 | 9 | 森林教室 | 木材や木の実を利用した木工教室 |
| 62 | 20 / 11 / 14 | 高岡市立横田小学校 | 児童 | 小学生5年生 | 42 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室の指導 |
| 63 | 20 / 11 / 17 | すずめ児童センター | 児童 | 小学校1～6年生 | 18 | 森林教室 | 建物使用木材について解説、小枝ボールペン作 |
| 64 | 20 / 11 / 19 | 滑川市立東加積小学校 | 児童 | 小学生3,4年生 | 25 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 木工教室(くるみのキーホルダー)の指導 |
| 65 | 20 / 11 / 29 | 日本労働組合総連合会富山県連合会 | 一般 | | 35 | 森林教室 | 自然素材を使用したの工作 |
| 66 | 20 / 12 / 2 | 射水市立金山小学校 | 児童 | 小学生5年生 | 9 | 出前講座 森林教室 | 富山の森林資源や環境保全活動について解説 木工教室の指導 |
| 67 | 20 / 12 / 3 | 入善町立飯野小学校 | 児童 | 小学校6年生 | 51 | 出前講座 | とやまの森林の姿、地球温暖化と森林など |
| 68 | 20 / 12 / 4 | 砺波市立庄東小学校 | 児童 | 小学校4年生 | 82 | 森林教室 | 樹木の解説、シイタケ植菌の指導 |
| 69 | 20 / 12 / 6 | はぎうらおはなしの会 | 一般 | | 30 | 森林教室 | 自然素材を収集してのリース作り |
| 70 | 20 / 12 / 13 | 富山市立山室小学校PTA | 児童 | 小学校1～6年生 | 40 | 森林教室 | 竹細工作り |
| 71 | 20 / 12 / 13 | 保内小学校 PTA | 児童 | 小学校5年生 | 121 | 出前講座 森林教室 | 地球温暖化と森林について 木工教室の指導(小枝ボールペン) |
| 72 | 20 / 12 / 13 | 中太閤山公民館 | 一般 | | 25 | 森林教室 | ミニ門松作りの指導 |
| 73 | 20 / 12 / 22 | 富山市立針原小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 67 | 出前講座 森林教室 | 森林について 木工教室の指導(木片工作) |
| 74 | 21 / 1 / 10 | 山中部土曜ふれあい活動運営委員会 | 児童 | 小学生 | 58 | 森林教室 | 木工教室の指導 |
| 75 | 21 / 1 / 13 | 小矢部市立津沢小学校 | 児童 | 小学校5年生 小学校4年生 | 39 45 | 出前講座 森林教室 | 森林・林業が果たす役割・機能について解説 竹笛作りの指導 |
| 76 | 21 / 1 / 27 | 高岡市立中田小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 67 | 出前講座 森林教室 | 富山県の森林について 竹笛作りの指導 |
| 77 | 21 / 1 / 30 | 富山市立山室小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 88 | 出前講座 | 森林の働きについて解説 |
| 78 | 21 / 2 / 4 | 富山市立上滝小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 29 | 出前講座 森林教室 | 森林の働きについて解説(間伐材活用、バイオマス) 竹笛、名札作りの指導 |
| 79 | 21 / 2 / 10 | 富山市立日中上野小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 6 | 出前講座 | 森林の働きについて解説 |
| 80 | 21 / 2 / 12 | 砺波市立庄東小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 33 | 森林教室 | 巣箱作りの指導 |
| 81 | 21 / 2 / 13 | 富山市立神保小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 66 | 出前講座 | 森林の働きについて解説 |
| 82 | 21 / 2 / 18 | 上市町立宮川小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 49 | 出前講座 | 林業就労者の姿容、課題、林業の意義、林業と環境との関わり |
| 83 | 21 / 2 / 19 | 射水市立中太閤山小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 60 | 出前講座 森林教室 | 森林の働きについて 小枝のボールペン作り |
| 84 | 21 / 2 / 19 | 砺波市立庄東小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 33 | 森林教室 | 巣箱作りの指導 |
| 85 | 21 / 2 / 24 | 富山市立東部小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 86 | 出前講座 森林教室 | 森林の働きについて 竹笛、木の名札作りの指導 |
| 86 | 21 / 2 / 26 | 富山市立大沢野小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 110 | 出前講座 | 森林の働きについて解説 |
| 87 | 21 / 2 / 27 | 富山市立神通碧小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 15 | 出前講座 森林教室 | 富山県の森林について 小枝のボールペン作り |
| 88 | 21 / 3 / 4 | 富山市立萩浦小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 60 | 出前講座 | 森林の働きについて解説 |
| 89 | 21 / 3 / 5 | 富山市立堀川小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 92 | 出前講座 森林教室 | 富山県の森林について 小枝のボールペン作り |
| 90 | 21 / 3 / 10 | 黒部市立宇奈月小学校 | 児童 | 小学校5年生 | 42 | 出前講座 森林教室 | 間伐について きのこの植菌の指導 |
| 91 | 21 / 3 / 11 | 藤ノ木下地域児童健全育成運営協議会 | 児童 | | 68 | 森林教室 | 木の名札作りの指導 |
| | | | | | 6,175 | | |

(参考)平成19年度実績 46回

2,847 名

『森の寺子屋』開催状況



| | |
|------|-----------------------|
| 開催日 | 平成20年4月22日 |
| 開催場所 | 砺波市庄川町 ワークハウスとなみ野 |
| 開催内容 | 一般県民を対象に、シイタケ植菌の指導を実施 |



| | |
|------|-----------------------|
| 開催日 | 平成20年6月28日 |
| 開催場所 | 魚津市 松倉公民館 |
| 開催内容 | 児童を対象に、端材を利用した木工教室を実施 |



| | |
|------|----------------------------------|
| 開催日 | 平成20年9月30日 |
| 開催場所 | 氷見市立十二町中学校 |
| 開催内容 | 全校生徒を対象に、森林の働き の解説、木工教室の指導を実施 |



| | |
|------|------------------------------|
| 開催日 | 平成20年10月16日 |
| 開催場所 | 富山市立八尾小学校 |
| 開催内容 | 小学校4年生を対象に、整備された里山林を散策・解説を実施 |



| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催日 | 平成21年1月13日 |
| 開催場所 | 小矢部市立津沢小学校 |
| 開催内容 | 小学校4、5年生を対象に、森林の働き の解説、竹笛作りの指導を実施 |



| | |
|------|---------------------------------|
| 開催日 | 平成21年3月5日 |
| 開催場所 | 富山市立堀川小学校 |
| 開催内容 | 小学校5年生を対象に、とやまの森林の解説、木工教室の指導を実施 |

とやまの森づくり普及啓発推進事業

(2)フォレストリーダースキルアップ研修実績

1. 研修実施回数 2回

2. 研修実施内容

| 月日 | 内容 | 講師等 |
|----------------|--------------------------|------------------------|
| 平成20年 7月7日 | 講義「学校教育における森林環境教育のあり方」 | 京都教育大学 山下宏文教授 |
| | 実習「出前講座の実践演習」 | 富山県森林政策課職員 |
| | 実習「木工クラフトの制作方法と指導方法」 | 梶島 直記 |
| 平成21年 3月15日 | 講義「とやま森の教本」解説のポイント | (社)全国林業改良普及 協会 本永剛士 |
| | 講義「とやま森の教本」を使用した解説の実演 | 富山県森林政策課職員 |
| | 実習「とやま森の教本」を使用した出前講座実践演習 | (社)全国林業改良普及 協会 本永剛士 |

3. 実施状況写真



第1回研修 講義(山下教授)



第2回研修 実習(出前講座演習)

(3)「とやま森の教本」作成・配布実績

1. 作成部数 16,000部

2. 平成20年度配布実績

| 配布先 | 配布箇所 |
|--------------------------------|------|
| 県内各全小学校 | 203 |
| 県内各中学校 | 83 |
| 県内各児童センター | 49 |
| 県内各図書館 | 70 |
| 教育機関、森林・林業行政機関、指導者(フォレストリーダー)等 | 97 |
| 『森の寺子屋』PR | 7 |
| 合計 | 509 |

3. 実施状況写真



「とやま森の教本」



『森の寺子屋』での活用状況(平成21年度実施)

Ⅶ 県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

○平成20年度事業の実績

(1) 県産材くつろ木事業

公共施設（55箇所：計71基）、公共交通機関（6箇所：計9基）に県産スギで製作したベンチを設置しました。また別途、企業協賛により8箇所の公共施設に計14基設置いただきました。

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

- ・ 県内の事業所内保育所に新たに配布するとともに、児童数の多い幼稚園、保育園に積木を追加配布しました（計356施設）。
- ・ 一万ピースの県産材積木を製作し、県内の各種イベント等へ貸し出しを開始しました（貸出実績8件）。

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・ 実施施設数 1施設（砺波市立高波幼稚園）

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小・中学校の学童・生徒用机天板を県産材天板に置換えました。

- ・ 実施学校数 3校（魚津市立大町小学校・道下小学校 立山町立雄山中学校）

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援をしました。

- ・ 実施施設数 5施設（立山町立あおぞら保育園 堀川南保育園 かたかご幼稚園
小矢部市立津沢小学校 高岡市西明寺パークゴルフ場）



子どものデザインにもとづき木製遊具を幼稚園に設置しました。

県内の各種イベント等へ貸し出しを行っています。
(県・市町村・民間企業等の団体で利用可能)

県産材利用促進事業

1 事業の実施と利用状況（平成21年6月現在）

（1）県産材くつろ木事業

①公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置

- ・ベンチ設置応募数 183施設 480基
- ・ベンチ設置数
公共施設 61施設80基
- ・設置時期 2月～3月

②企業協賛ベンチの配布

- ・協賛企業数 2企業3団体
- ・協賛ベンチ設置数 8施設14基



（2）「森の玉手箱」プレゼント事業

①幼稚園、保育所等に県産材積木を配布

- ・配布先 356施設 1,300セット
- ・配布時期 2月

②イベント用積み木（10,000個）の製作・貸し出し

- ・製作時期 6月～8月
- ・貸出開始 9月～
- ・貸出実績 8件



（3）県産材こどもの城づくり事業

園児デザインによる木製遊具（こどもの城）を親子の協力により製作・設置

- ・応募施設 16施設
- ・実施施設 1施設
高波幼稚園（砺波市）
- ・実施期間 5月～11月

こどもの城に使われる県産材が地元でどのように育てられているかを体験する事で、親子が森や木に対しての意識を醸成することを目的とした、「森の見学会」を7月に開催



（４）森に親しむ学び舎づくり事業

小・中学生用机を県産材天板に置き換える
ことに対して支援

- ・ 応募学校 2市町 3校
- ・ 実施学校 3校 136枚
大町小学校（魚津市）
道下小学校（魚津市）
雄山中学校（立山町）
- ・ 設置時期 12～3月



（５）木の香るまちづくり事業

県内の公共施設等に対して、県産材を使用
した内装の木質化に対して支援

- ・ 応募施設 6施設
- ・ 実施施設 5施設
津沢小学校（小矢部市）
堀川南保育園（富山市）
かたかご幼稚園（高岡市）
西明寺パーク・ホール管理棟（高岡市）
あおぞら保育園（立山町）



2 評価方法等について

（１）評価方法

- ・ 県産材製品設置施設の施設管理者などへのアンケート調査を行い、その結果を踏まえ評価する。（アンケート項目は別紙のとおり）
- ・ 県産材シンボルマークについては、規程にもとづく利用承認件数により評価する。

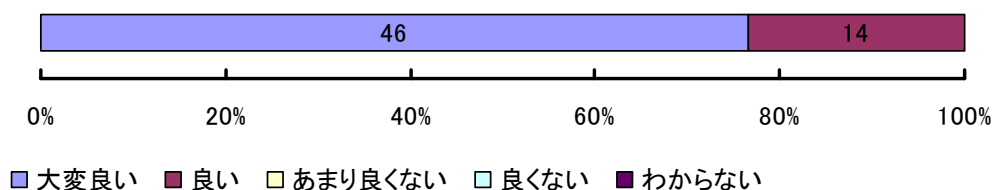
（２）評価時期

- ・ 事業実施の年度内にアンケート調査を行い、翌年5月頃に評価する。
- ・ 県産材シンボルマーク（H19指定）については、5年経過後に評価する。

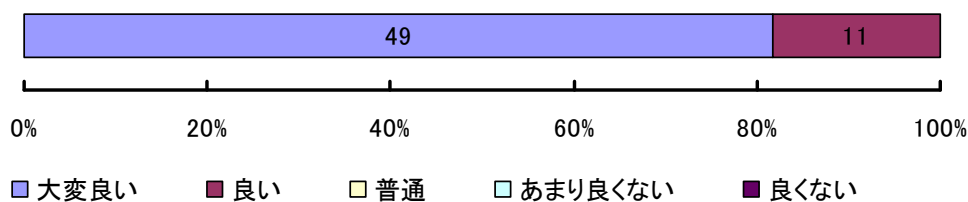
県産材くつろ木事業（県産材ベンチ設置）に対するアンケート結果

設置施設職員（合計 60 人）による回答

1 県産材を使ったベンチを公共施設等に設置したことについて、どう思いますか。



2 あなたから見た県産材ベンチに対する印象はどうか。



3 ベンチ利用されている方々の様子はどう感じられますか。（主なものを記載、複数回答式）

- ・しっかりしたベンチなので、ゆったりと落ち着いた様子で利用している。[75%]
- ・腰掛けて楽しそうに会話をしている姿を良く見かける。[65%]
- ・珍しい造りなので注目されており、試しに座る人も多い。[52%]
- ・休み時間で休憩したり、読書したり思い思いの時間を過ごしている。[37%]
- ・送迎等の待ち時間で利用する人が多い。[12%]

4 スチール製などのベンチと比べて、今回設置した県産材ベンチの良い点と悪いと思われる点を記載してください。（主なものを記載、複数回答式）

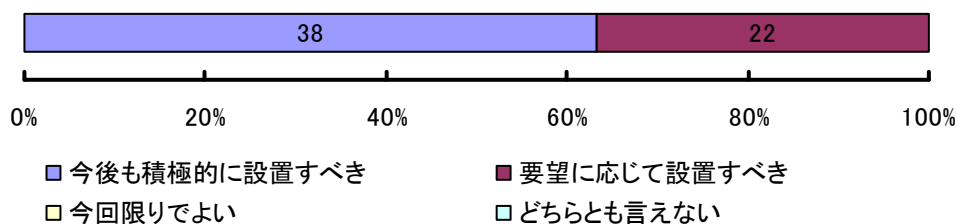
（良い点）

- ・木の温かみがある [97%]
- ・見た目の優しい感じがある [87%]
- ・独特の柔らかさがある [57%]
- ・頑丈なので長持ちしそう [57%]
- ・冬でも（表面が）冷たくない [47%]
- ・設置施設の景観にマッチしている [38%]

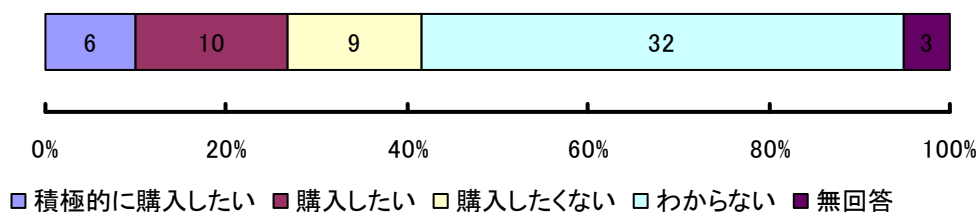
（悪い点）

- ・屋外で使用できない [55%]
- ・重いので移動が不便 [43%]
- ・高価そうである [8%]
- ・汚れが取れにくい [7%]

5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設や公共交通機関にこのような県産材製品を設置することについてどう思いますか。



6 今回設置した県産材ベンチを個人的に購入してみたいと思われましたか。



いくらなら購入しても良いですか？（購入したいと答えた人の回答）

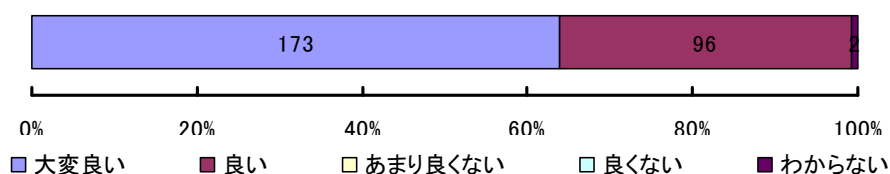
12,500 円（平均） 5,000 円（最低） 40,000 円（最高）

7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。（主なものを記載）

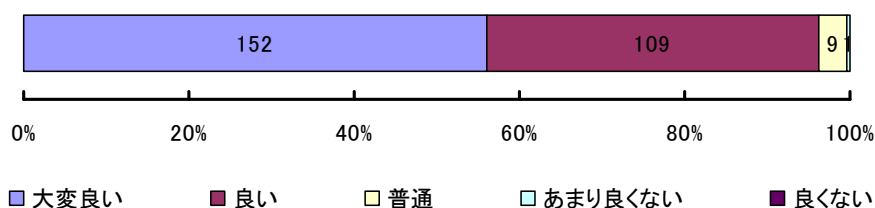
- ・ベンチはいくつ設置されても良い、今後もベンチを含め県産材製品の設置を望む。
- ・今回のベンチより長さの短いものも設置してもらえれば活用幅も広がる。
- ・できれば屋外用の県産材ベンチも設置して欲しい。
- ・ベンチ以外にも椅子、テーブル等色々なものを設置してほしい。
- ・校舎にも県産材が使われれば、落ち着いた学校生活に繋がるだろうし、郷土への愛着も深まるだろう。
- ・県産材製品をもっとPRするため、より宣伝効果の高いプレート等を貼っても良いのではないかな。
- ・木材の産地や樹齢などの情報を木製品に付けければ想像も膨らむだろう。

「森の玉手箱」プレゼント事業（県産材積木）に対するアンケート結果
 配布施設（幼稚園・保育園等）職員（合計 271 人）による回答

1 県産材を使った積木を保育園・幼稚園などに配布したことについて、どう思いますか。



2 あなたから見た県産材の積木に対する印象はどうか。



3 使っている子供たちの様子はどうか。（主なものを記載 複数回答式）

- ・積木を並べたり、高く積み重ねたり、また組み合わせて家などを作って遊んでいた。[92%]
- ・片付けで箱に詰めるとき、積木を組み合わせてパズルのように楽しんでいた。[79%]
- ・「いいにおいがする」と木の香りを確かめながら遊ぶ姿が見られた。[75%]
- ・積木に刻印してある木の名前を読みながら、覚えたりしていた。[56%]
- ・積木同士を拍子木のように打ちつけて、音を鳴らすことを楽しんでいた。[48%]
- ・木の手触りや色の違いを比べたり、図鑑で調べたりしていた。[3%]
- ・ドミノ倒しを楽しんでいた。[2%]

4 プラスチック製の積木と比べて、県産材の積木の良い点と悪いと思われる点を記載してください。

（主なものを記載 複数回答式）

（良い点）

- ・木のぬくもりが感じられる [88%]
- ・手触りや見た目（木目、年輪）が良い [82%]
- ・自然素材なので安心感がある [82%]
- ・木の香りが心地よく癒し効果がある [74%]
- ・欠けにくく丈夫である [42%]

（悪い点）

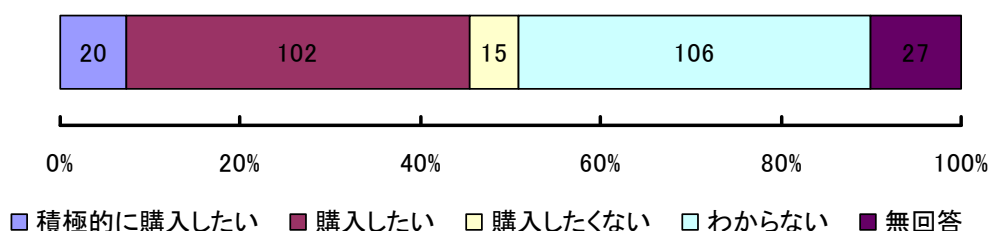
- ・木製品は比較的高価であると思う [43%]
- ・やや硬く重いので投げられた積木にぶつかってケガをする恐れがある [33%]
- ・濡れると濁きが遅い [24%]
- ・汚れると洗っても落ちにくい [23%]
- ・色彩感がない [9%]

5 子供たちに、木の良さに触れてもらえるよう、保育園や幼稚園などにあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。(表内の数値は票数を示す)

| | | | | |
|-----|------|-----|--------|-----------|
| ベンチ | テーブル | パズル | ままごと道具 | 家 (ミニチュア) |
| 189 | 166 | 154 | 147 | 118 |

| | | | | |
|-----|-----|-------------|------|-----|
| 椅子 | 机 | 乗り物 (ミニチュア) | すべり台 | ドミノ |
| 116 | 109 | 55 | 39 | 2 |

6 今回配布しました県産材の積木を個人的に購入してみたいと思いましたが。



いくらなら購入しても良いですか？ (購入したいと答えた人の回答)

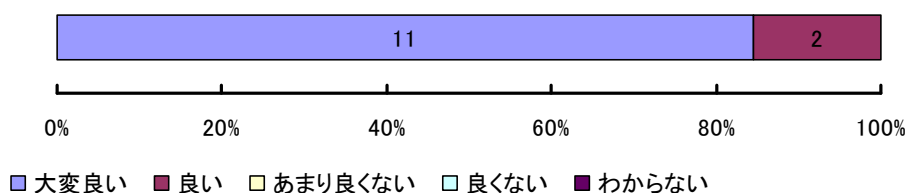
1,800 円 (平均) 500 円 (最低) 5,000 円 (最高)

7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。(主なものを記載)

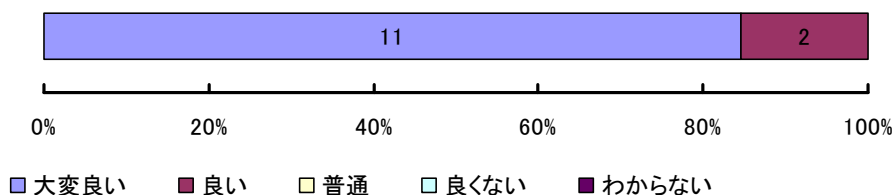
- ・県産材という身近なものを通して、自然を大切にしようとする意識することが出来る。
- ・今回のような積木で創造性を養うことは幼児期に欠かせないと思う。
- ・屋外での耐久性の考慮も必要だが木製ブランコ、シーソーもあると良い。
- ・今回の積木は形がやや単純である、もう少し複雑にすればさらに創造力が働いて良いのではないかと。
- ・木の素材に触れることが少ないので、今後も安心な県産材のおもちゃを提供して欲しい。
- ・木の利用を通して県内にも色々な種類の樹木があることを教えて欲しい。
- ・保育所・幼稚園は木造建築にするとともに、机、椅子、棚等も県産材指定にすると良いと思う。

イベント用積木（県産材 1万ピース積木）貸出に対するアンケート結果
 利用団体・企業職員（合計 13 人）による回答

1 県産材を使ったイベント用積木の貸出の取り組みについてどう思いますか。



2 あなたから見たイベント用積木に対する印象はどうですか。



3 イベント用積木で遊んでいる人たちの様子はどうか。（主なものを記載）

- ・小さな子供から家族の方までが思い思いに自由に使って夢中で楽しんでいました
- ・最初戸惑う子供も多かったが、スタッフが積み上げるのを見てアイデアが浮かんだようだった。
- ・数がたくさんあったので、子供はもちろん大人まで夢中になって遊んでいた。
- ・積んだり、並べたりするだけでなく、木の香りや積木同士が当たって発する音も楽しんでいました。
- ・初めて出会った子供同士であそび始めることも多く、積木を通して輪が広がっています。

4 イベント用積木の良い点と悪いと思われる点を記載してください。（主なものを記載）

（良い点）

- ・木のぬくもり、あたたかさがある
- ・積木を壊すときの音、響きが良い
- ・壊れにくく、もし口に入っても安全
- ・肌触りの柔らかさ
- ・見ている人からも褒められる綺麗な音

（悪い点）

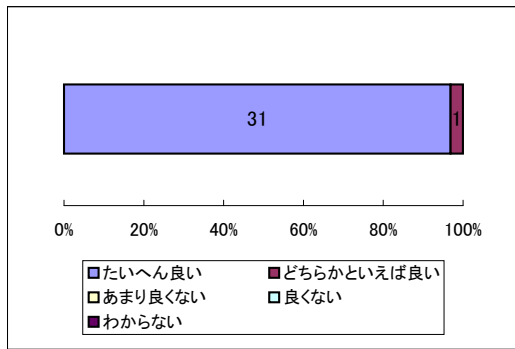
- ・形や種類がもっと多いと良い
- ・一つ一つのサイズがやや小さく感じられた
- ・色が一色なので少しジミ
- ・飛んできた積木に当たると痛い
- ・汚れが取りにくい

5 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。（主なものを記載）

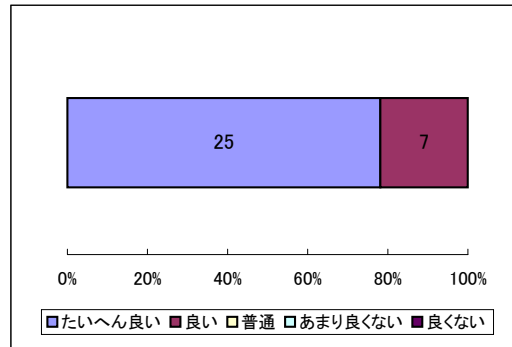
- ・県産材の良さが理解できた、もっともっとPRして欲しい。
- ・積木貸出とともに県産材のPRのポップを工夫すると効果があがるだろう。
- ・積木貸出を通して森の仕組みや緑豊かな県土の大切さを分かりやすく伝えることが大切ではないか。

平成20年度 県産材こどもの城づくり事業 アンケート集計

Q.1 県産材を使った「こどもの城」を保育園・幼稚園などに設置することについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た「こどもの城」に対する印象はどうですか。



主な意見

- ・子供たちの想いが詰まっている
- ・製作に関わることで愛着がわいている
- ・親子協同で作成できてよかった
- ・明るい感じがする
- ・遊び方によっては危険な部分がある

Q.3 使っている子供たちの様子はどうですか。

- ・自分たちで安全上のルールを決めて使っている
- ・今まで無かった「のぼり棒」に挑戦する子供が多い
- ・登る、降りる、集う、隠れる等、色々な要素を楽しんでいる
- ・自分たちで作ったもので、大切に使う姿が見られる
- ・年少の子供には使いこなせていない

Q.4 遊具に県産材を使用することについて、良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

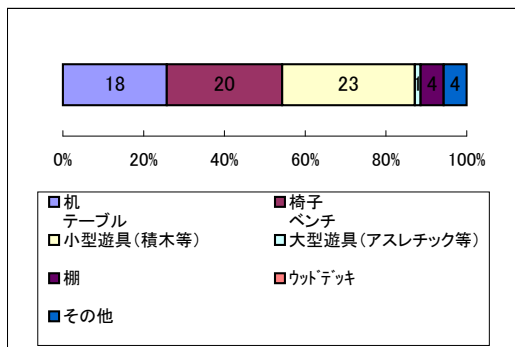
(良い点)

- ・地産地消につながる
- ・自分の住んでいるところを再認識できる
- ・プラスチックや鉄にはない温かみがある
- ・県の森林に対する理解が深まる
- ・外国の森林伐採が少しでも減り、地球環境が守られる

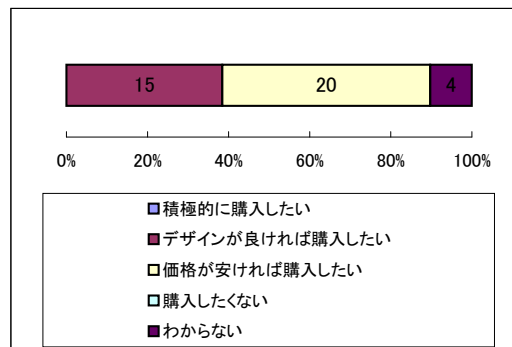
(悪い点)

- ・維持管理が大変
- ・価格が高い
- ・古くなったときのささくれが心配

Q.5 子供たちやその家族に木の良さに触れてもらうために、保育園や幼稚園にあったらよいと考えられる木材製品は何ですか。



Q.6 県産材製品(机、椅子、ベンチ、本棚など)を個人的に購入したいと思いますか。



Q.7 今回、「こどもの城」の導入と併せて開催した、森の見学会の感想をお書きください。

- ・改めて木について学ぶことが出来た
- ・普段木のことを考える機会が無いので、良い機会となった
- ・園児には内容が難しい
- ・森林の役割について理解できた
- ・苗木等を使って、視覚的に理解できるような内容にしたほうが良い
- ・遊具が出来上がってから、再度、クイズの内容と正解の説明をしたほうが良いのでは

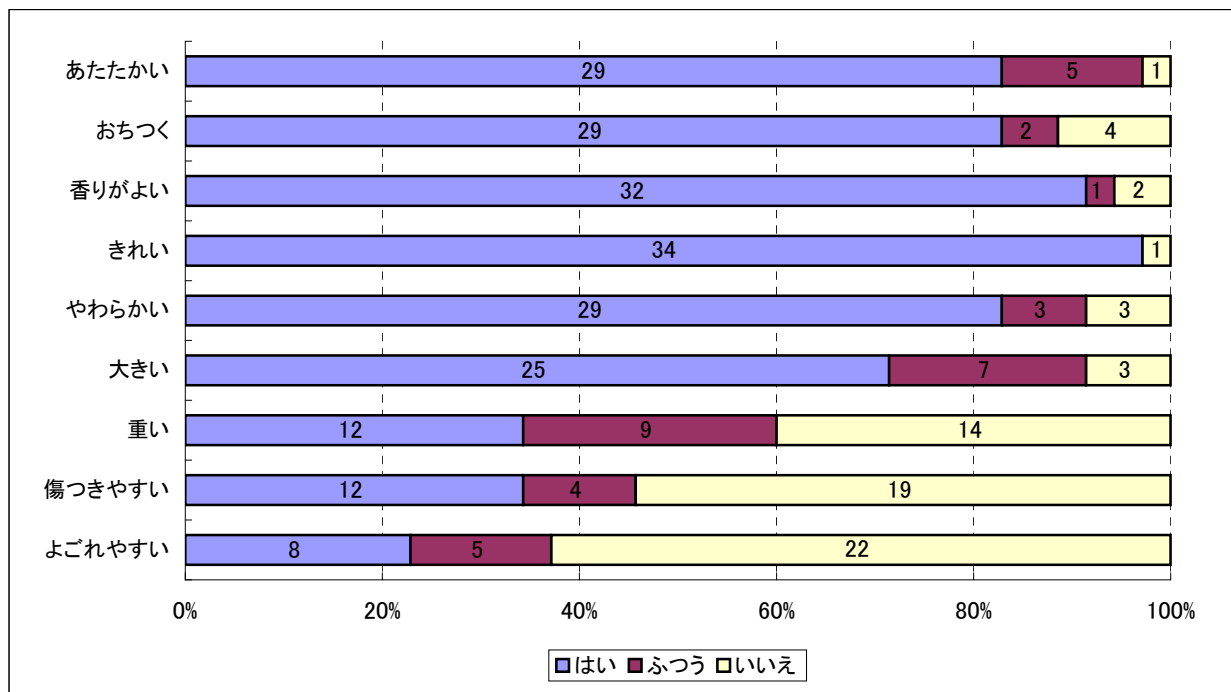
Q.8 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・今後も継続し、いろんな園にこどもの城が見られるようになればよい
- ・親子で参加できるイベント(鍋敷き、笛等の製作)を開催して欲しい
- ・県産材=高価というイメージをなくすことが必要
- ・森の見学会の内容を、もっと広く県民に知ってもらえるよう努力すべき

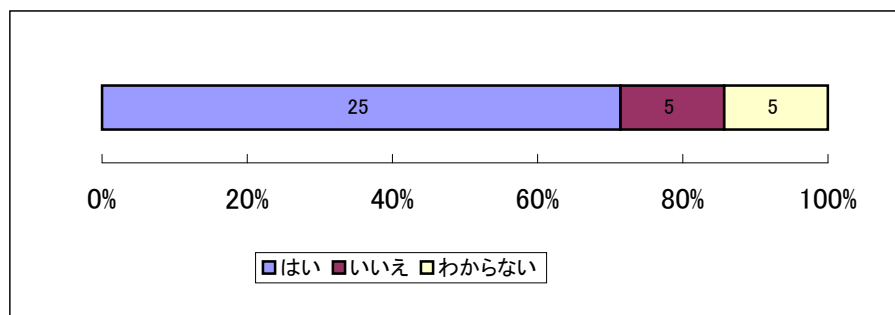
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業 アンケート集計(小学校児童用)

| | | | | |
|-----|-------|----|---|----|
| 回答数 | 道下小学校 | 10 | 計 | 35 |
| | 大町小学校 | 25 | | |

1. 天板に対する印象



2. 木に対する興味



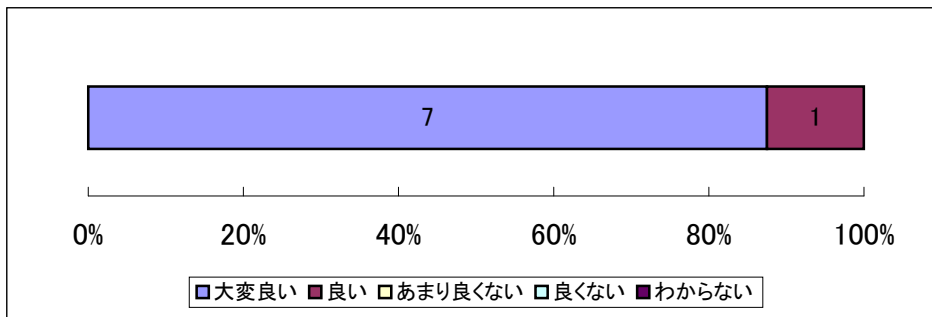
主な自由意見

- ・前の机が汚かったので悲しかったけど、今の机はきれいで嬉しい。(大町小1年)
- ・前は汚れていたけど、今は綺麗で嬉しい。6年生まで綺麗に使います。(大町小1年)
- ・換えてもらった瞬間目の前にまぶしい光が舞い上がる感じがして素敵だと思いました。(大町小1年)
- ・前の机は茶色かったけど、今の机は明るくておちつきました。(大町小1年)
- ・今の机には線の穴が2本もあり残念です。いろんな紙に書くとときも穴があくからちょっといやです(大町小1年)
- ・きれいであたたかい。勉強がいっぱいできました。(道下小3年)
- ・軽くて持ちやすい。持ち運びがしやすい。(道下小3年)
- ・突然綺麗になっていたのびびっくりしました。勉強するときに落ち着く。(道下小5年)
- ・新しくなってよかったです。大切に使いたい。(道下小6年)
- ・温かくて軽いからいいと思います。(道下小6年)

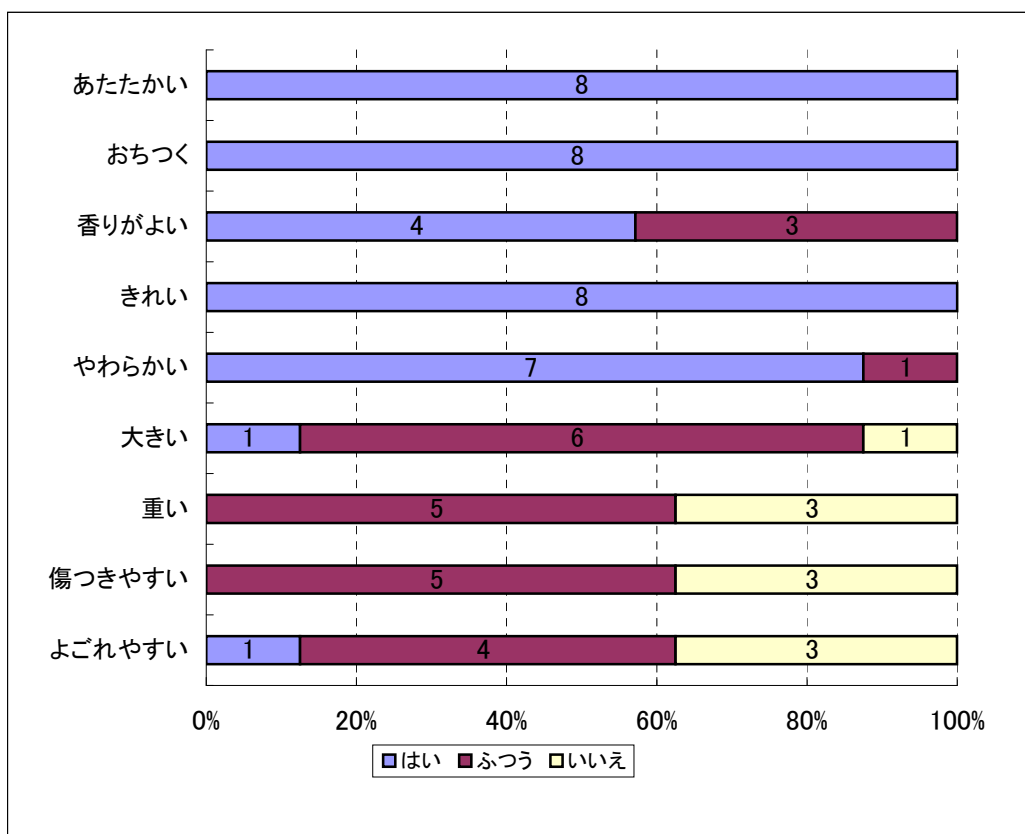
(4) 森に親しむ学び舎づくり事業 アンケート集計(小学校教員用)

| | | | | |
|-----|-------|---|---|----|
| 回答数 | 道下小学校 | 5 | 計 | 35 |
| | 大町小学校 | 3 | | |

1. 天板導入に対する感想



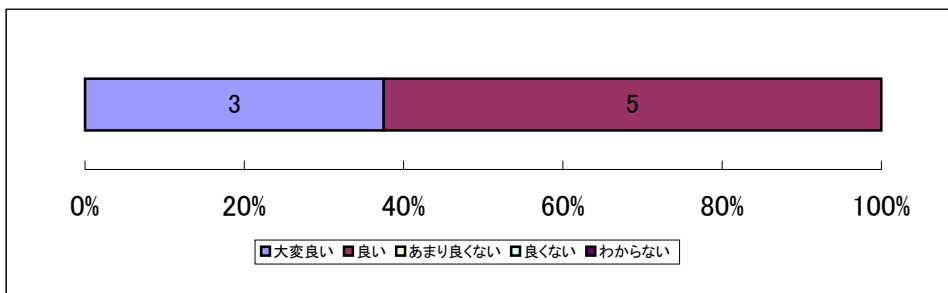
2. 天板に対する印象



主な自由意見

- ・今までより色が明るいので汚れが目につきますが、子供たちはできるだけ汚さないように気をつけています。
- ・色合いがよく落ち着きます。光沢もあり大切にしようとするきもちがわいてきているようです。
- ・白木の天板机が並んでいると、教室全体が明るく感じる。また手触りも柔らかく暖かい
- ・県産は子供たちが親しみを持ったように思います。
- ・天板が美しいと気持ちよく学習することができます。

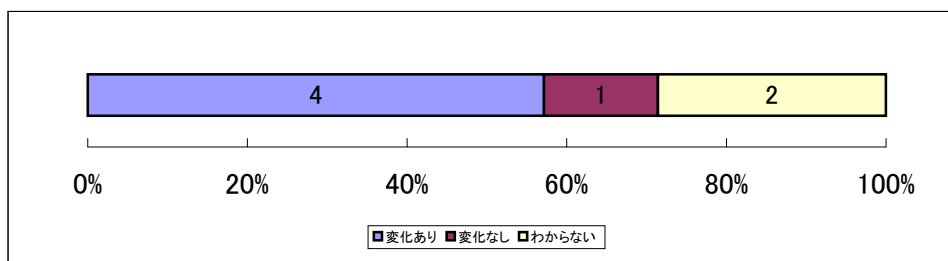
3. 子供たちの印象



主な自由意見

- ・1年生の天板を新しくしていただいたので、大変喜んでます。1年だけではなく他学年の子供まで「いいなー」とうらやましがられています。
- ・1年生に配置し、6年間持ち上がることを伝えてあるので、自分の大切な机として取り扱っている。
- ・淡い色で落ち着きが出るように思います。
- ・机の天板が綺麗になった時、大変喜んでいました。

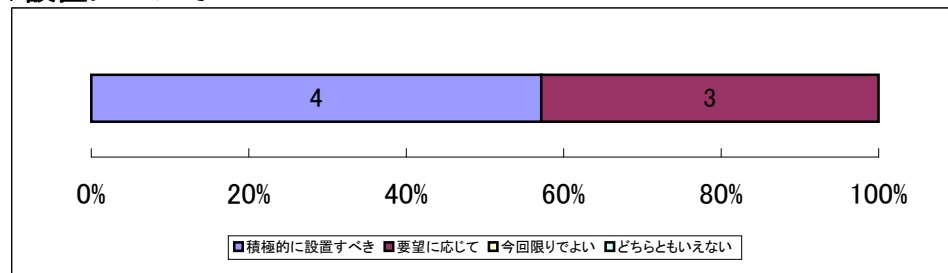
4. 子供たちの変化



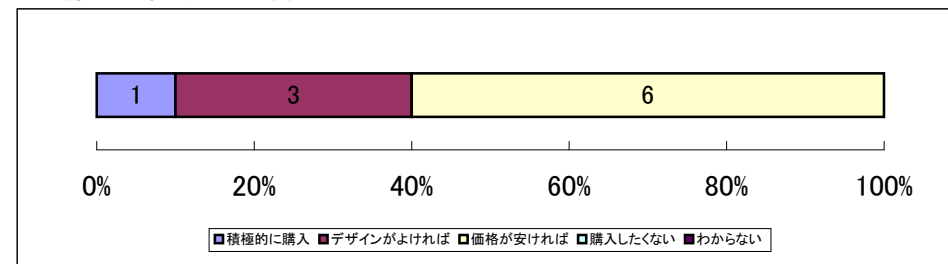
5. 具体的な変化の内容

- ・天板が変わっただけで、新しい机になったように見えるので、とても大事に使っています。
- ・大切にできるようになった。
- ・木の美しさや素材感が得られたように思います。身の回りで使用するものが、もとは大きな木材から作られたことを感受することができたのではないかと思います。
- ・自分の机を綺麗に保とうと、いつもより丁寧に使い、汚れをふき取っていた。

6. 今後の設置について



7. 個人的な購入に関する意識

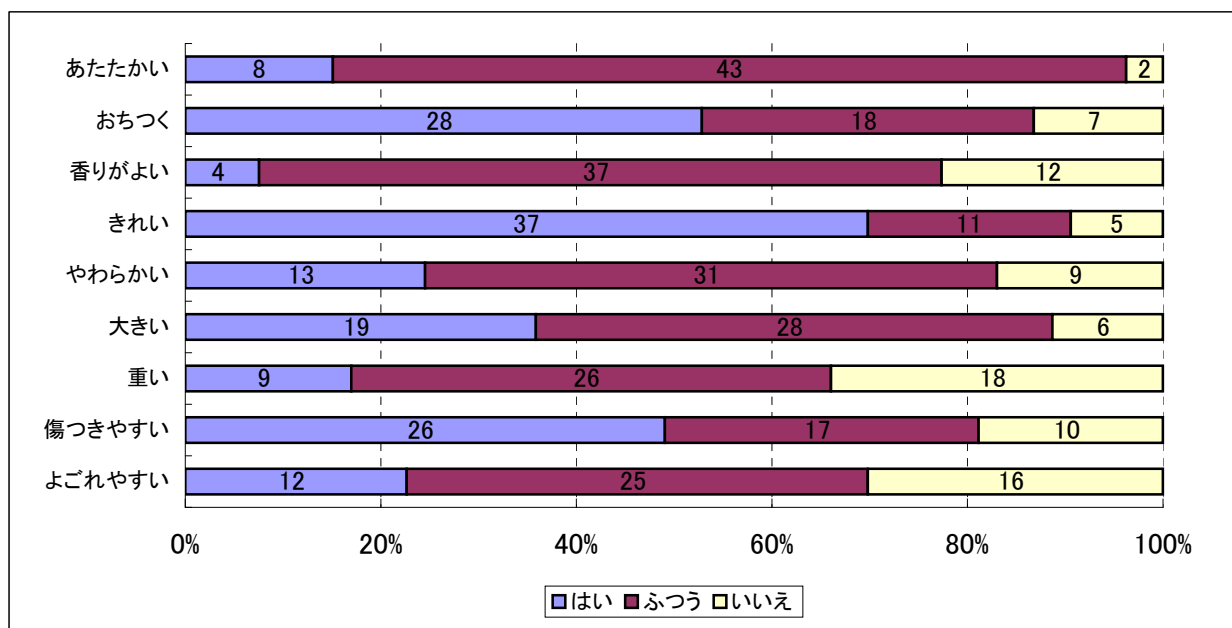


8. 県産材の利活用に関する自由意見

- ・今回のような事業は大変ありがたいです。ぜひ続けてほしいです。
- ・自然素材としてさらに広く活用してほしい。本校にも来年度も継続して導入したい。
- ・効果的な活用を工夫され、県産材の需要を増やすようにし、林業の活性化につながるとういと思う。

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業 アンケート集計(中学校生徒用)

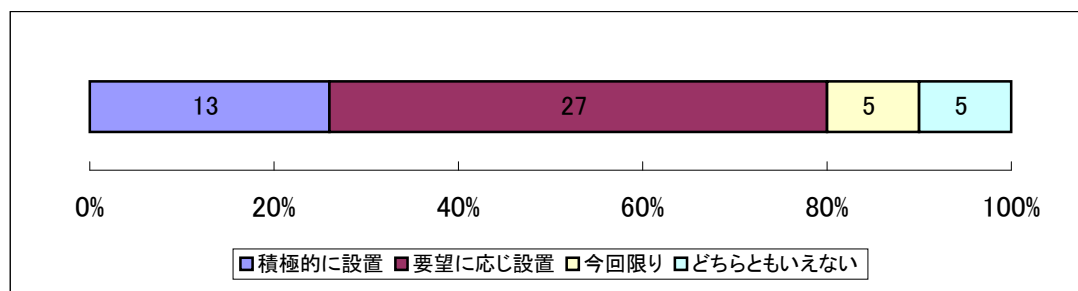
1. 天板に対する印象



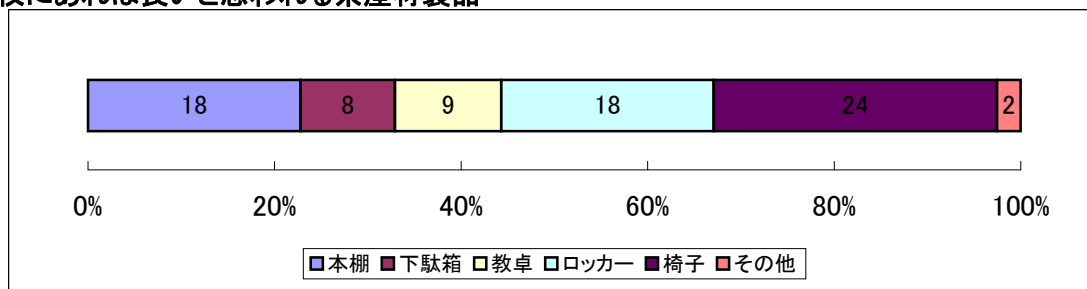
主な自由意見

- ・富山県産の木を富山県で使うのは地産地消でよい。すごく香りが良い。富山県産のものを使っていて気持ち良い(地元産の木を使っているから)もっと積極的に使えばよいと思う。これからも大切に使いしていきたい。
- ・木の色が少し薄いおかげですごく落ち着きました。とても綺麗なことも良いと思います
- ・大きくて使いやすくて良い。傷つきやすいのもっと硬くして欲しい。
- ・県産材のものを使った方が安心だと思います
- ・すこしだけ、傷つきやすいので、そこを気をつけたいと思う
- ・とても書きやすいし便利でいい。たまにでこぼこしたところがある
- ・下敷きがないとゴリゴリして使いづらい

2. 今後の設置について



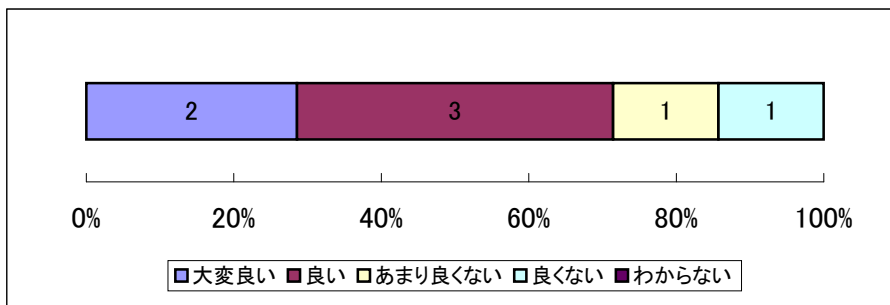
3. 学校があれば良いと思われる県産材製品



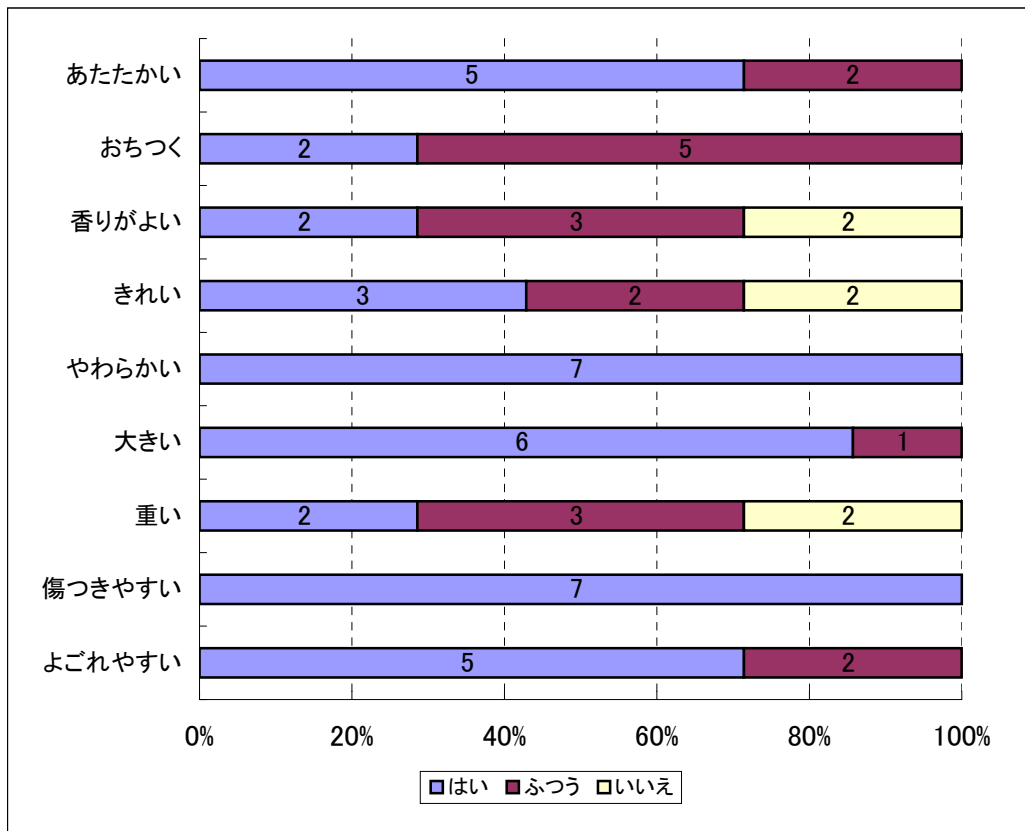
その他内訳 床(1)壁(1)

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業 アンケート集計(中学校教員用)

1. 天板導入に対する感想



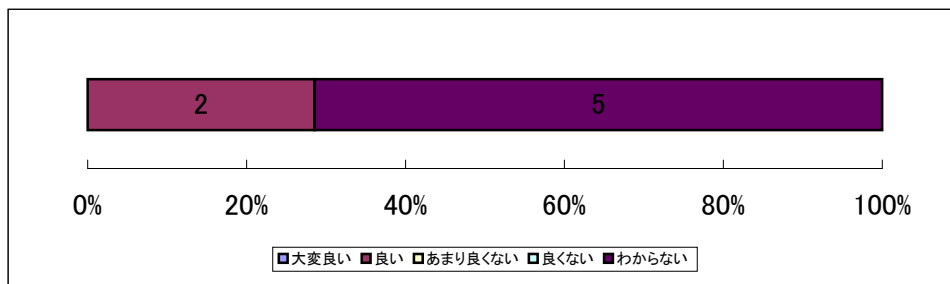
2. 天板に対する印象



主な自由意見

- ・良い面もあるが持ち運びなど実用面で困ることもある。重い、傷つきやすいというのはネックです。
- ・少し強度が不足しているのではないかとと思われる。
- ・教室中の机がこれなら違和感はないと思います。他の机とあまりに規格が違いすぎて。机表面のひび割れがひどかった。
- ・新品の状態であれば温かみのある机ですが、材質が軟らかいためペンのあとやこすれ傷が簡単につく。上面の材質は硬いものがよい。
- ・柔らかく傷つきやすい。テストで下敷きを使わないときは天板が柔らかく字の後ろが残った。

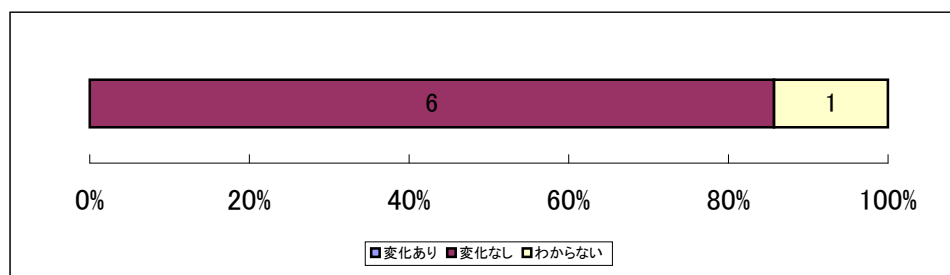
3. 子供たちの印象



主な自由意見

・カバンを置いただけで傷がついてしまい、生徒が困っていた。

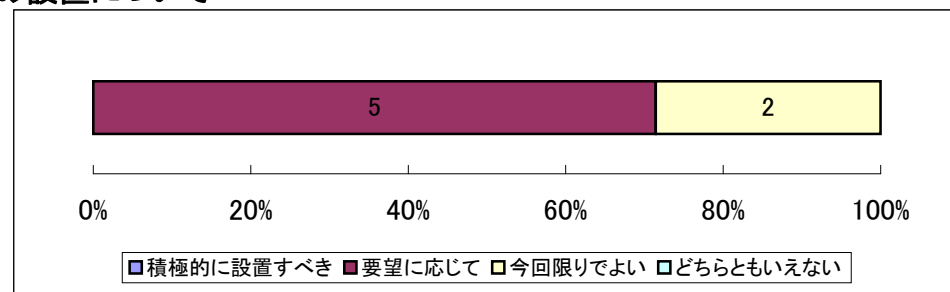
4. 子供たちの変化



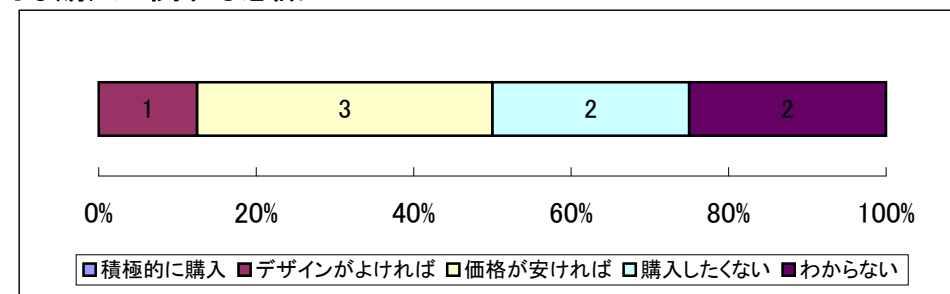
5. 具体的な変化の内容

・回答なし

6. 今後の設置について



7. 個人的な購入に関する意識

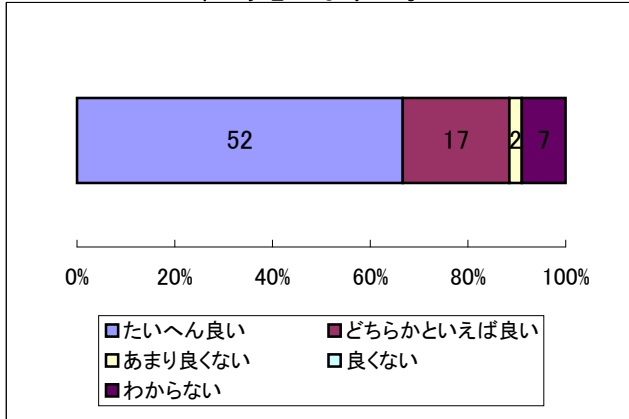


8. 県産材の利活用に関する自由意見

・教室環境を考えた場合、一部のみを変えると統一感を損なう感じがする。導入するのであれば、一斉に導入してもらいたい。

平成20年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設利用者)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



(主な意見)

- ・暖かみがあってよい
- ・塗装をしたほうが汚れが取れやすいのでは

Q.2 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

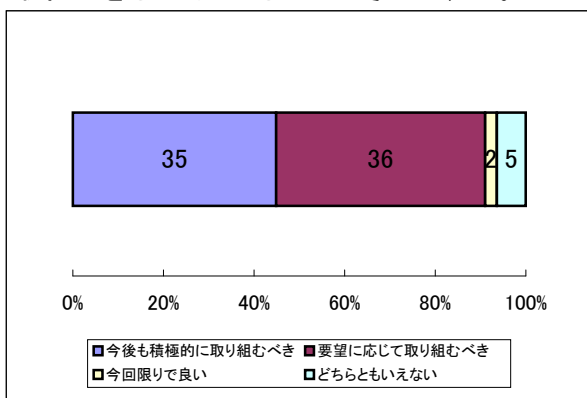
(良い点)

- ・健康によい
- ・見た目、肌触り
- ・健康によい

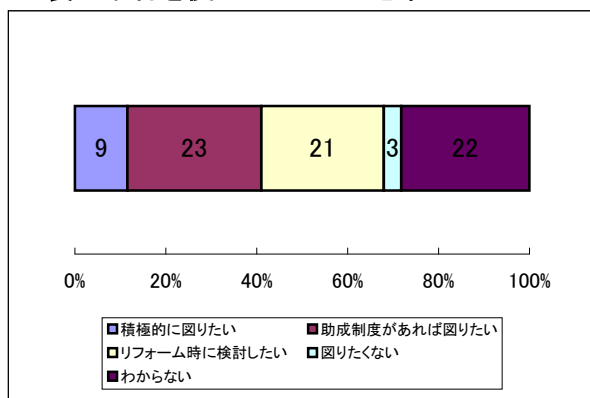
(悪い点)

- ・メンテナンスが大変
- ・汚れ・キズが目立つ

Q.3 このような公共施設等の内装木質化の取組みをもっと進めるべきと考えますか。



Q.4 あなたの住んでいる住宅において、内装に木材を使ってみたく思われましたか

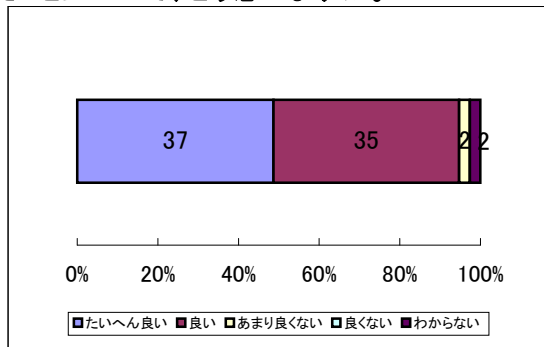


Q.5 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

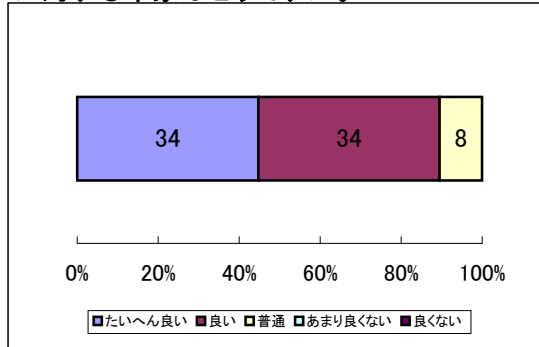
- ・品質向上、積極的なPR
- ・もう少し質のよいものがあればよい。赤い部分が多かったり、節が多かったり、建材に適しているのか疑問

平成20年度 木の香るまちづくり事業 アンケート集計(対象者:施設従業員)

Q.1 県産材を使って、建物の内部を木質化したことについて、どう思いますか。



Q.2 あなたから見た県産材を使った内装木質化に対する印象はどうですか。



(主な意見)

- ・自然素材なので安心
- ・温かみがあってよい
- ・一般的なものより品質が悪く見える

Q.3 クロス張りなどの内装と比べて、木材(県産材)を使った内装の良いと思われる点と悪いと思われる点を記載してください。

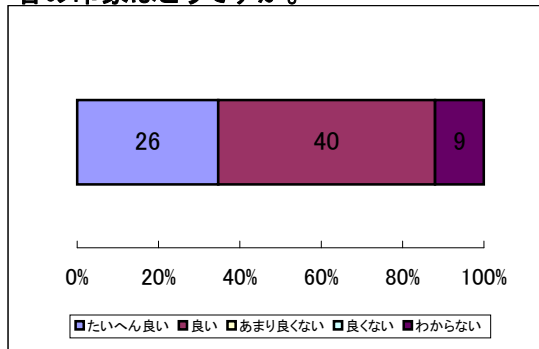
(良い点)

- ・見た目、肌触りが良い
- ・温かみがある
- ・柔らかい感じ

(悪い点)

- ・管理が大変
- ・掃除がしにくい
- ・キズがつきやすい
- ・汚れやすい

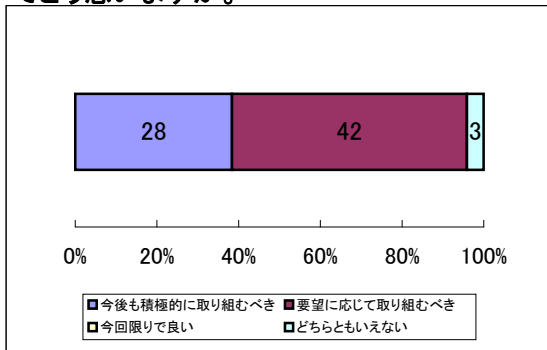
Q.4 県産材を使った内装木質化に対する利用者の印象はどうですか。



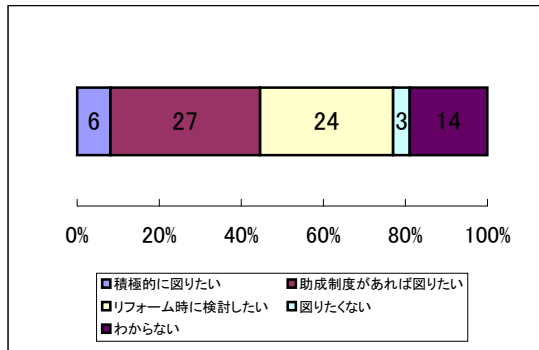
(主な意見)

- ・温もりを感じるようで好印象
- ・時間が経過してみないとそのよさが分からない

Q.5 県民の方々に県産材をPRする目的で、公共施設等の内装の木質化を図ることについてどう思いますか。



Q.6 あなたの住んでいる住宅において、このような内装木質化を図ってみたいと思われましたか。



Q.7 県産材の利活用に対するご意見があれば記載して下さい。

- ・県産材といわれてもよく分からないが、木は良いと思う
- ・もっと品質の良い木材を生産すべき
- ・県産材のPRをもっと行うべき。知らない人が多い

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

○平成20年度事業の実績

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行ないました。

【採択状況】

・ 応募件数23件 採択件数22件 実施件数20件

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成21年度事業などへの反映を検討しました。

【応募状況等】

・ 応募件数 10件 うち1件につき、H21年度事業に反映
(特別支援学校用机・椅子の開発)



カシノナガキクイムシの被害にあった地域の里山を整備し、地域住民とともに伐採木を利用したシイタケの植菌に取り組みされました。
(雄神地区森林振興会)



親子で地域の里山林の整備に取り組み、親子の絆、地域の森との絆を深められました。
(氷見市立十三中学校育友会)

平成20年度 県民による森づくり提案事業 一覧表

| 番号 | 実施団体名 | 事業名 | 県補助金額 | 参加人数 |
|----|--|--|------------|--------|
| 1 | 魚津地区 林業研究グループ協議会 | 間伐材を活用した卒業証書額づくり | 200 千円 | 137名 |
| 2 | アースディとやま2008 にいかわ実行委員会 | クリキンディの森づくり | 811 千円 | 166名 |
| 3 | 環境と地域活性化を考える市民グループ Bamboo saves the earth | 竹の楽校 | 191 千円 | 114名 |
| 4 | (財) オイスカ富山県支部 | 猿倉山里山保全森づくり事業 | 198 千円 | 123名 |
| 5 | きんたろう倶楽部 | 竹チップ堆肥づくり | 184 千円 | 212名 |
| 6 | 呉羽丘陵 森の楽校 | とやまのまんなか森づくり事業 | 200 千円 | 81名 |
| 7 | エコロの森ネイチャークラブ | 天蚕の森づくりと森のエコツアー | 208 千円 | 124名 |
| 8 | たてやまの森づくり実行委員会 | たてやま森の祭典 | 721 千円 | 238名 |
| 9 | 北八代里山を守る会 | 里山活用体験塾 | 890 千円 | 134名 |
| 10 | 火見城発伸の会 | 飯久保山「次世代に継ぐ森・II」づくり | 645 千円 | 305名 |
| 11 | 氷見市立十三中学校育友会 | 「きずなの森」づくり | 185 千円 | 434名 |
| 12 | アートNPOヒミング 八代環境パトロール隊 | 森林整備・伐採 | 988 千円 | 132名 |
| 13 | 小矢部里山を守る会 | 大嶺山を中心とした森林整備事業 による自然体験活動の推進 | 255 千円 | 60名 |
| 14 | 綾子青年団 綾子里山再生利用の会 | 風倒木を利用した綾子町内 太田神社内こどもコミュニティーづくり | 200 千円 | 102名 |
| 15 | 砺波増山杉を育てる会 | 増山杉を採穂・育成し普及する事業 | 943 千円 | 152名 |
| 16 | 雄神地区森林振興会 | 広葉樹の森を見直そう | 240 千円 | 50名 |
| 17 | 雑木囃子 | 雑木囃子の森／森林整備と子ども達への心の教育の場作り | 351 千円 | 205名 |
| 18 | あそあそ自然学校 | 森の恵みを知る子どもエコツアー | 225 千円 | 33名 |
| 19 | NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会 | 南砺の山々を守る炭焼 | 1,000 千円 | 455名 |
| 20 | 閑乗寺公園の会 | 閑乗寺公園内で炭焼きし、 八乙女山の被害木利用 | 294 千円 | 320名 |
| 21 | トコトウ 瞳々の会 | 荒廃した森林と公園遊歩道の 整備・復旧作業 | 団体の都合により辞退 | |
| 22 | Kid's Eco Project 実行委員会 | Kid's Eco Project ～子供の僕たち、私たちにも出来ること～ | 団体の都合により辞退 | |
| 計 | | | 8,928 千円 | 3,577名 |

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | 魚津地区林業研究グループ協議会 |
| 2. 事業名 | 間伐材を活用した卒業証書額づくり |
| 3. 事業目的 | 間伐材を未利用資源として放置せず有効利用することで森林整備に対する県民意識の醸成を図るもの。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | 間伐材の卒業証書づくり (2校、200セット) ----- ・参加延べ人数：137名 |
| 5. 実施場所 | 朝日町あさひ野小学校、朝日町五箇庄小学校 |
| 6. 事業期間 | 平成20年9月18日～平成21年2月27日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 202,900円 (200,000円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 間伐材の有効利用した作品の製作と森林環境教育を通じて、新川の森林を元気にし、地球温暖化の防止にも役立てるためには新川で育った木を利用することが大切であることを普及することができた。 |

《 実施状況写真 》



額の材料として間伐材を搬出



間伐材を額の部材に加工



森林の役割や間伐の重要性などを講義



間伐材を用いて額づくり

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | アースディとやま2008にいかわ実行委員会 |
| 2. 事業名 | クリキンディの森づくり |
| 3. 事業目的 | かつての山里の暮らしを見習い多角的に森林を活用するための整備を、幅広い参加者により継続的に行い、森との触合いや恵みを享受する喜びを分かち合う。また、子供達が森に入る機会も多く設け、山里の暮らしの豊かさを学び、山や森林を見直す機会とする。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 山林の診断と利用計画づくり ② 山林整備 ③ 森林環境教育と「森の感謝祭」の開催 ----- ・参加延べ人数：166名 |
| 5. 実施場所 | 魚津市坪野 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年5月22日～平成21年2月26日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 1,014,260 円 (810,695 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 昨年度のシンポジウム開催により高まった森づくりへの機運を、実際に整備することで形にすることができた。今年度も多くの参加者が集まったが、さらに多様な方々の参加と継続的な活動が課題。 |

《 実施状況写真 》



計画策定のための測量



森林整備状況



「森の感謝祭」で森林環境教育

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 環境と地域活性化を考える市民グループ Bamboo save the earth 竹は地球を救う |
| 2. 事業名 | 竹の楽校 |
| 3. 事業目的 | 富山の森林保全活動として竹林を伐採し、その排出竹を活用したクラフト教室の開催により竹材の有効活用の普及啓発を図る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 竹林伐採 全6回 ② 竹の楽校（クラフト教室） 全9回 ----- ・参加延べ人数：114名 |
| 5. 実施場所 | ①富山市金屋地区を中心に ②富山市婦中町添島 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年4月27日～平成21年1月28日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 207,744 円 (191,385 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 竹材を利用したクラフト教室は計画どおり全9回実施することができ、多くの参加者に竹材のさまざまな使い方や魅力、さらには竹林整備の必要性を伝えることができた。 |

《 実施状況写真 》



竹林整備状況



竹製水鉄砲の製作



竹フラワーポットの製作



門松づくり

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | (財) オイスカ富山県支部 |
| 2. 事業名 | 猿倉山里山保全森づくり事業 |
| 3. 事業目的 | 猿倉山森林公園に隣接する荒地の整備事業を地域住民協力のもと、青少年や幅広く県民とともに実施し、緑豊かな森づくり意識の高揚に努める。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 雑草、雑木の刈り払い地拵えと植樹 2回 ② 森の大切さについて学ぶ森林教室 1回 ----- ・参加延べ人数：123名 |
| 5. 実施場所 | 富山市舟倉谷内割 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年11月1日～平成20年11月2日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 198,260 円 (198,260 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 荒廃地を豊かな森に再生するため、コナラ、ヤマザクラの苗を3世代の参加者により植栽した。また、森づくりと私たちの暮らしとの関わりについての森林教室を開催することにより、森づくりの大切さや今回の植樹活動の意義を普及することができた。 |

《 実施状況写真 》



地拵え



植樹活動（全景）



植樹活動



森林教室

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | きんたろう倶楽部 |
| 2. 事業名 | 竹チップ堆肥づくり |
| 3. 事業目的 | 里山整備で発生したモウソウチクの有効利活用として、チップ化した竹を堆肥にし、地元に戻す。また植栽地などの土壌改良剤として使用する。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 発生竹の粉碎処理 ② 竹チップの発酵促進 ----- ・参加延べ人数：212名 |
| 5. 実施場所 | ①富山市婦中町新町 地内 ②富山市ファミリーパーク内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年7月5日～平成20年12月19日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 207,940 円 (184,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | モウソウチクにより鬱蒼としていた里山が、整備により明るくよみがえった。また、チップ化し、発酵して堆肥化することで伐採竹の有効活用を図ることができた。今後の活用法として期待できる。 |

《 実施状況写真 》



竹チップと発酵促進剤の混合



切り返し作業



完成した竹堆肥



竹堆肥の活用（植樹に利用）

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | 呉羽丘陵 森の楽校 |
| 2. 事業名 | とやまのまんなか森づくり事業 |
| 3. 事業目的 | 荒廃した雑木林や竹林の整備と廃材の活用を図る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 竹林整備 4回 ② 廃材クラフト 2回 ----- ・参加延べ人数：81名 |
| 5. 実施場所 | 富山市吉作および寺町けやき台 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年4月27日～平成20年12月21日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 269,176 円 (200,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | モウソウチクの侵入で荒廃した雑木林を整備し、本来の豊かな森を取り戻した。また、クラフト教室の開催により竹の有効活用を図るとともに、里山の現状や里山整備の楽しさ、理解が深まった。 |

《 実施状況写真 》



タケノコ掘り（5月）



竹林の整備（5月）



植栽地の刈払い（10月）



クラフト教室（12月）

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | エコロの森ネイチャークラブ |
| 2. 事業名 | 天蚕の森づくりと森のエコツアー |
| 3. 事業目的 | 富山の里山で天蚕を育てることにより、生き物と森の関係を知る。また、森の案内人とともに散策することで、森を体感し森の癒し効果を実感するとともに、森への深い理解を醸成する。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 天蚕の育成体験活動 15回 ② 森林エコツアー 1回 ----- ・参加延べ人数：124名 |
| 5. 実施場所 | 富山市八尾町 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年7月3日～平成21年2月27日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 212,350円 (207,550円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 計画通りクヌギ林の造成、天蚕の育成と製糸を実施し、八尾の伝統的な天蚕を守り伝えるための一歩を踏み出すことができた。まだまだ使い物にならないような糸しかできないので継続的な取り組みが必要である。また、エコツアーの開催で森林の大切さとともに八尾の森の豊かさを参加者に伝えることができた。 |

《 実施状況写真 》



天蚕の森(クヌギ)の整備状況



クヌギのドングリ拾いと鉢植え



撚糸した糸の巻き取り



森のエコツアー(雪上ハイク)

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | たてやまの森づくり実行委員会 |
| 2. 事業名 | たてやま森の祭典 |
| 3. 事業目的 | 森林レクリエーションの場として親しまれている立山町吉峰地区において、ボランティアの参加を募り、協働で森林整備を行なうとともに、とやまの森を支える県民意識の醸成を図る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | たてやま森の祭典 <ul style="list-style-type: none"> ・植樹活動 ・間伐材を利用したベンチ作成 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・参加延べ人数：268名 |
| 5. 実施場所 | 立山町吉峰野開 |
| 6. 事業期間 | 平成20年4月19日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 895,060 円 (720,575 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | この事業を通じて、参加者やその家族等に、森林整備の大切さや間伐材の利活用についての理解が広まった。また、森を育て愛しみ、森とのふれあいを楽しむ心が育まれた。 |

《 実施状況写真 》



たてやま森の祭典開会



植樹活動



間伐材ベンチ作成状況



間伐材ベンチ設置状況

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | 北八代里山を守る会 |
| 2. 事業名 | 里山活用体験塾 |
| 3. 事業目的 | 森林の整備や利活用を促進するとともに、森の果たす多面的機能を体験する。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 炭窯づくり ② 体験教室（シイタケづくり、炭焼き） ----- ・参加延べ人数：134名 |
| 5. 実施場所 | 氷見市北八代 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年7月26日～平成21年2月27日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 1,145,990 円 (890,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | かつて北八代で盛んに行われていた炭焼きを再開する基盤ができあがり、小学生を対象とした体験会も開催することができ、地元の豊かな森林や里山での営みを伝えることができた。今後は大きく育ったクヌギを中心とした里山の管理と一般参加者を招いた炭焼きやキノコ栽培などの里山体験会を実施していきたい。 |

《 実施状況写真 》



炭窯づくり（窯底生コン打設）



炭窯づくり（レンガ積み）



炭窯完成・炭焼き



地元小学生を対象にした体験教室

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | 火見城発伸の会 |
| 2. 事業名 | 飯久保山「次世代に継ぐ森・Ⅱ」づくり |
| 3. 事業目的 | 森林整備を行い、地域の歴史・文化に根付いた総合教育の場としての里山を創る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森林整備（遊歩道整備） ② 竹ドームでのコンサート（1回） ----- ・参加延べ人数：318名 |
| 5. 実施場所 | 氷見市飯久保 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年7月7日～平成20年8月30日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 793,381 円 (645,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 地元中学校の十四歳の挑戦を受け入れ、飯久保山の遊歩道整備を会員と一緒にやり、参加者全員が達成感を味わうとともに、地元の小・中学生も参加した竹ドームコンサートの開催により身近な里山への愛着、地域の人や親子の絆が一段と高まった。 |

《 実施状況写真 》



整備した竹を利用した楽器づくり



遊歩道整備



遊歩道整備（登り初め）



竹ドームコンサート

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 氷見市立十三中学校育友会 |
| 2. 事業名 | 「きずなの森」づくり |
| 3. 事業目的 | 生徒と保護者、教職員が一緒になって地域の森を整備したり、地域の自然に触れたりして森を愛する心を育てる。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 観察会（4回） ② 講演会（1回） ③ 草刈り（3回） ----- ・参加延べ人数：434名 |
| 5. 実施場所 | 氷見市飯久保 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年5月23日～平成21年2月19日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 185,119 円 (185,119 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 身近な里山の整備や観察、さらには講演会を通して、生徒達にとっては氷見の森林の現状や将来について考える非常によい機会となった。また、保護者や地域の方との交流の輪も広がり、きずながより深まった。 |

《 実施状況写真 》



生徒と保護者がともに森林整備を実施



植物観察会



林内に設置する看板を県産材で製作



講演会の開催状況

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | アートNPOヒミング 八代環境パトロール隊 |
| 2. 事業名 | 山と海プロジェクト 天馬の森林整備 |
| 3. 事業目的 | 会員や一般参加者、指導者の手を借りて、森林整備をする。また、 地元で育った木を使って船大工によって木造天馬船をつくる。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森林整備（10回） ② 地元の木を使って天馬船造船（一艘） ----- ・参加延べ人数：132名 |
| 5. 実施場所 | 氷見市国見 地内、氷見市北大町 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年5月24日～平成21年2月27日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 1,250,925 円 (988,193 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 予定していた以上に森林整備を行うことができ、子供達も楽しく遊 べるような森林空間を造成できた。また、天馬船を造船し、森林整 備に貢献するとともに海の人にも山の大切さを感じてもらったこ とができるようになった。 |

《 実施状況写真 》



森林整備状況①



整備後の森林で遊ぶ子供達



天馬船用材の伐採・搬出



天馬船の造船

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|--|
| 1. 実施団体名 | 小矢部里山を守る会 |
| 2. 事業名 | 大嶺山を中心とした森林整備事業による自然体験活動の推進 |
| 3. 事業目的 | 小矢部市に残された自然を大切に守っていくため市で一番高い山である大嶺山を中心に子供から大人まで楽しめる自然体験エリアを作る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 久利須集落から山頂までの整備のための道作り ② 風倒被害木を利用してのテーブルイスの作成 ③ 案内看板、標識の設置 ----- ・参加延べ人数：60名 |
| 5. 実施場所 | 小矢部市久利須（大嶺山周辺） |
| 6. 事業期間 | 平成20年6月1日、平成20年6月8日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 273,386 円 (255,039 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 大嶺山までの登山道を整備するとともに、案内看板、標識等を設置したことで安全に、安心して自然体験活動が行えるようになった。今後は「くりす自然塾」を開校し、整備地を中心に活動していく。 |

《 実施状況写真 》



整備した登山道



案内看板



山頂に設置した風倒木によるテーブルイス



くりす自然塾

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 綾子青年団 綾子里山の再生利用の会 |
| 2. 事業名 | 風倒木を利用した綾子町内太田神社内こどもコミュニティづくり |
| 3. 事業目的 | 町内付近の里山の風倒木の整理や、これを活用したテーブル・イスを製作、町内神社境内に設置し、地域のこどもコミュニティの形成に役立てる。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 風倒木の集材・運搬・製材 一式 ② テーブル・ベンチの製作・設置 4基 ----- ・参加延べ人数：102名 |
| 5. 実施場所 | ①小矢部市蓮沼 地内、②小矢部市綾子 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年5月1日～平成20年10月20日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 228,589 円 (200,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 地域住民の手で風倒木の整理をしたことで身近な里山での風倒木被害の状況について認識を共有できた。また、被害木でテーブル・ベンチの製作し、子供の遊び場となる太田神社に設置することで住民の親睦と子供を中心としたコミュニティづくりに役立った。 |

《 実施状況写真 》



風倒木の集材



風倒木の製材



テーブル・ベンチの製作状況



設置状況

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 砺波増山杉を育てる会 |
| 2. 事業名 | 増山杉を採穂・育成し普及する事業 |
| 3. 事業目的 | 増山杉の植林に備え 5,000 本の挿し木による苗を育成するとともに、ビオトープを含めた周辺環境整備を行う。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 苗畑の造成 ② 採穂育苗および移植作業 ③ ビオトープ整備作業 ----- ・参加延べ人数：152名 |
| 5. 実施場所 | 砺波市増山 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成 20 年 5 月 1 日～平成 20 年 12 月 18 日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 1,190,140 円 (942,605 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 砺波の伝統的な増山杉の苗木を育成する拠点ができることで、今後、これらを活用した緑化活動への展開が可能となった。 また、ビオトープ整備により周辺を気持ちよく散策することもできるようになった。 |

《 実施状況写真 》



増山杉採穂状況



挿し木畑への植え込み



移植畑への移植作業



ビオトープ整備

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 雄神地区森林振興会 |
| 2. 事業名 | 広葉樹の森を見直そう |
| 3. 事業目的 | 当地区住民はカシノナガキクイムシ被害に関心が高く、被害の拡大に危機感を抱いていることから、広葉樹林整備に関する認識を深めるとともに、広葉樹林整備や木材の有効利用を図る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森林整備とキノコの植菌作業 ② カシノナガキクイムシの予防 ----- ・参加延べ人数：50名 |
| 5. 実施場所 | 砺波市庄川町雄神地区 |
| 6. 事業期間 | 平成20年11月22日～平成20年11月23日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 252,828 円 (239,621 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 事業実施前は自分達の山の手入れも十分にしていなかったが、この事業をきっかけとしてもう一度山に入ろうという意識が会員に芽生えた。また、地域の方たちにもシイタケのほだ木を配布することで集落背後の山からの恵みに触れ、森を見直すきっかけとなった。 |

《 実施状況写真 》



森林整備（伐採）



森林整備（玉切り）



カシノナガキクイムシ予防作業



シイタケ植菌作業

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 雑木囃子 |
| 2. 事業名 | 雑木囃子の森 森林整備と子ども達への心の教育の場作り |
| 3. 事業目的 | 雑木囃子の森の整備を通じ、次世代を担う子ども達へ自然の素晴らしさを教え、自然環境について親子で学習できる場所の整備をする。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森林整備（カシナガ被害木等伐採、歩道修理、樹木名取付等） ② 森林環境教育（カシナガ被害木でキノコ植菌、クラフト作り、野草や木の実の採取） ----- ・参加延べ人数：205名 |
| 5. 実施場所 | 砺波市東別所 地区 |
| 6. 事業期間 | 平成20年5月3日～平成21年1月13日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 401,893 円 (351,419 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 次世代を担う子供達の遊び場、教育の場としての森林を整備し、充実させることができた。また、それと同時に、季節に応じたさまざまな森林環境教育を実施し、子供達に森の豊かさ、大切さを伝えることができた。 |

《 実施状況写真 》



森林整備



森林整備（遊び場づくり）



森林環境教育（森の生き物教室）



森林環境教育（クラフト教室）

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | あそあそ自然学校 |
| 2. 事業名 | 森の恵みを知る子どもエコツアー |
| 3. 事業目的 | 県内の子どもたちが森林にふれる機会をつくとともに、森林の大切さへの理解を深める学習機会をつくる。また、一緒に活動する大学生にも森林への理解を深める機会とする。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森の恵みを知る親子エコツアーの実施（1回） ② 普及PRチラシの配布（1回） ----- ・参加延べ人数：33名 |
| 5. 実施場所 | 南砺市桜ヶ池周辺 |
| 6. 事業期間 | 平成20年8月17日～平成20年10月23日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 283,000円 (260,000円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 森林内を散策しながら、木の実や木の葉っぱの紹介、森の役割や森林と暮らしとの関わりについての解説を通して、ツアー参加者に森林の大切さを普及啓発することができた。 |

《 実施状況写真 》



森の植物を紹介



木の実の紹介



森の役割について解説



木の葉っぱクイズ（指定した葉を探す）

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | NPO法人 南砺の山々を守る実行委員会 |
| 2. 事業名 | 南砺の山々を守る炭焼き |
| 3. 事業目的 | カシノナガキクイムシ被害の拡大防止と被害を受けた里山再生のため、被害木を伐採・活用する。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① 森林整備（カシノナガキクイムシ被害木の伐採 30ha、伐採跡地植栽イベント1回） ② 伐採被害木を活用した炭焼き活動（4回） ・参加延べ人数：455名 |
| 5. 実施場所 | 南砺市小二又、才川七 地内 |
| 6. 事業期間 | 平成20年6月22日～平成21年2月27日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 1,404,039 円 (1,000,000 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | カシノナガキクイムシ被害木の伐採とそれを活用した炭焼きにより充実した活動を行うことができた。イベントの開催に当たっては多数の参加者があり、南砺の森林の現状を理解してもらうとともに、被害跡地の植栽にも参加してもらうことができた。 |

《 実施状況写真 》



森林整備（カシナガ被害木伐採）



森林整備（伐採木搬出）



炭焼き活動



植樹イベント（ドングリ植込）

《 事業概要 》

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 実施団体名 | 閑乗寺公園の会 |
| 2. 事業名 | 閑乗寺公園で炭焼きし、八乙女山の被害木利用 |
| 3. 事業目的 | 閑乗寺公園を中心に自然保護活動を行い、南砺市の地域活性化を図る。 |
| 4. 事業内容 (事業量・参加者数) | ① カシノナガキクイムシ被害木の伐採（約 50 本） ② 被害木を利用した炭焼（18 回） ----- ・参加人数：320名 |
| 5. 実施場所 | 南砺市八乙女山周辺、閑乗寺公園 |
| 6. 事業期間 | 平成 20 年 4 月 29 日～平成 21 年 2 月 25 日 |
| 7. 事業費 (県補助金) | 337,316 円 (294,131 円) |
| 8. 事業効果 (実施団体からの聞き取り) | 期間中の活動日数は計 85 日にものぼり、18 回もの炭焼きを実施することができ、会員の士気向上につながった。また、カシノナガキクイムシ被害木だけでなく、孟宗竹やマツクイムシ被害木の整理も行うことができた。 |

《 実施状況写真 》



カシナガ被害木等の伐採・整理



カシナガ被害木の薪割り



孟宗竹も整理



被害木利用炭焼き

県民からの森づくり事業のアイデア提案 一覧表

| 分野 | 内容 | 番号 | 事業名 | 事業概要 | 事務局意見 | |
|-----------|-------|----|------------------------|---|-----------|---|
| | | | | | 事業への反映等 | 内容 |
| 森林の整備や利活用 | 流木対策 | 1 | 流木の処理 | ①流木の一因と考えられる枯損木の伐採除去 ②整備に必要な作業道の新設 | 他事業で反映を検討 | ○カシノナガキクイムシ枯損木が、必ずしも流木発生の原因とはなっていない。 ○「災害に強い山づくり検討委員会」により流木発生機構や施設整備、森林整備について検討を予定している。 |
| | 病虫害対策 | 2 | カシノナガキクイムシの被害木対策 | ①被害木の伐採による萌芽更新 ②伐採木の幹、枝および切り株を利用したキノコ栽培 | 反映済 | ①被害木の伐採は「里山再生整備事業(里山林整備、カシノナガキクイムシ枯損木除去事業)」で取組可能である。 ②きのこ栽培については、「里山再生整備事業(里山活用促進事業)」で取組可能である。 |
| | | 3 | 松田江浜 海岸松林の保全 | ①海岸松林の「保護管理計画」を策定し、地域住民と樹木医などの専門家、郷土史家、行政などによるネットワークの構築 ②「保護管理計画」に基づくマツクイムシの駆除や松の補植などの保全対策を住民参加により実施 | 他事業で対応済み | ○「保全すべき松林」を設定し、松くい虫被害対策推進事業計画及び自主事業計画を策定している。 ○事業計画に基づき、予防、防除事業を実施している。 |
| | 里山の再生 | 4 | カドミウム汚染田の客土を送り出した里山の再生 | 「神通川左岸公害防除客土採取県有地」において、 ①厩糞等を利用した土壌の再生 ②当該地を里山に再生するための苗木生産 ③当該地のロケーションを生かしたグリーンツーリズム事業の実施 | — | ○当該地は林地開発の許可を得て、森林外に転用された場所であることから、水と緑の森づくり税の事業対象外である。 ○ご意見は跡地利用の提案として関係課に伝える。 |
| | 間伐の促進 | 5 | スギ接ぎ木利用による間伐の促進 | ①間伐手遅れ林における強度間伐または皆伐の実施と伐採木の搬出、販売による森林所有者への利益還元 ②伐採木の切り株を利用した「接ぎ木」による更新 | 他事業で対応済み | ○森林所有者への利益還元を目的とする事業は水と緑の森づくり税による事業の対象としないこととしている。 ○県では「魅力ある林業の構築」を目指し、施業の集約化などを進めているところである。 ○伐採木への接木更新については、技術的に困難であるが、低コストな再造林、保育技術の開発については別途検討したい。 |

県民からの森づくり事業のアイデア提案 一覧表

| 分野 | 内容 | 番号 | 事業名 | 事業概要 | 事務局意見 | | | |
|---------|---------|----|-----------------------------------|---|-----------|--|---|--|
| | | | | | 事業への反映等 | 内容 | | |
| 県民意識の醸成 | イベントの開催 | 6 | 街中での林業機械展示による県民の林業関心度の向上 | グランドプラザなど街中で林業機械の展示、作業実演、試乗や木工工作、積み木を用いたイベントの開催により古い林業のイメージを払拭 | 他事業で反映を検討 | ○木と住まいフェアの開催や、県産材積木を製作して各種イベントなどに貸し出しを行いPRしている。 ○林業機械の展示等については危険性や騒音等の問題がクリアできる場所を選定した上で検討する。 | | |
| | | | 森資源の利活用 | 間伐材で作った割り箸のブランド化 | | スギ間伐材または端材による割り箸など木工品の製作 ・タテヤマスギのみ使用し、産地・銘柄を明示 ・社会復帰施設等で製作 ・県有施設で使用 ・「木づかい運動」の製品登録 | 他事業で反映を検討 | ○製箸機等の設備投資については各施設に負担してもらう必要があるため、社会復帰施設等でも加工可能な商品開発について検討を行う。 |
| | | | | 木質バイオマス | | 森林資源の利活用の促進 | ①間伐材や建築廃材をエネルギー利用するための検討会を設置し、生産・流通システムや必要施設等について検討 ②県有施設、学校等でチップやペレットを用いるボイラーやストーブを設置 以上により間伐材や廃材の需要・供給システムを構築 | 他事業で反映を検討 |
| 森資源の利活用 | 県産材利用 | 9 | 県産材を利用した特別支援学校用および普通学級用机・いすの開発と普及 | ①県内の特別支援学校等での机・いすの利用状況調査・分析 ②調査データを元に県産材使用を前提に設計 ③試作して特別支援学校および普通学級にてモニター調査 ④モニター調査の結果を基に最終設計 ⑤県内業者による製作・設置 | 反映を検討 | ○学校用机の天板については「森に親しむ学び舎づくり事業」で実施済みである。 ○しかしながら、次代を担う子どもたちに県産材の良さを知ってもらうためには、利用者の意見等を反映し、より親しみやすいものとする必要があることから、事業の内容拡充を検討する。 | | |
| | | | 10 | 学校施設備品の木質化 | | 県産材利用促進事業の森に親しむ学び舎づくりを拡充し、ランチルームのテーブルなど補助対象を拡大 | 他事業で反映を検討 | ○子どもたちが県産材製品に触れる機会を増やすには、校内の様々な場所で県産材製品が使用されていることが望ましいため他事業において補助対象の拡大を検討する。 |